

第九十回帝國議會
衆議院

所得稅法の一部を改正する等の法律案外二件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月九日(金曜日)

午前十時十七分開議

出席委員

委員長 吉米地義三君

理事殿田 孝次君 理事中野 武雄君

理事八木佐太治君 理事松永 義雄君

理事山崎 常吉君 理事今井 耕君

小川原政信君 片岡伊三郎君

上林山榮吉君 田中 實司君

平岡 良藏君 飯島 祐之君

加藤 高藏君 松岡 運君

川島 金次君 榎原 千代君

玉井 潤次君 林田 哲雄君

米山 久君 太田鐵太郎君

原尻 東君 増井慶太郎君

山下 ツ子君 喜多橋治郎君

同日委員喜多橋治郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中野四郎君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

內務事務官 郡 祐一君

大藏事務官 上塚 保君

大藏事務官 池田 勇人君

專賣局長官 杉山 昌作君

大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

大藏政務次官 上塚 保君

大藏事務官 池田 勇人君

專賣局長官 杉山 昌作君

大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月九日(金曜日)

午前十時十七分開議

出席委員

委員長 吉米地義三君

理事殿田 孝次君 理事中野 武雄君

理事八木佐太治君 理事松永 義雄君

理事山崎 常吉君 理事今井 耕君

小川原政信君 片岡伊三郎君

上林山榮吉君 田中 實司君

平岡 良藏君 飯島 祐之君

加藤 高藏君 松岡 運君

川島 金次君 榎原 千代君

玉井 潤次君 林田 哲雄君

米山 久君 太田鐵太郎君

原尻 東君 増井慶太郎君

山下 ツ子君 喜多橋治郎君

同日委員喜多橋治郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中野四郎君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

內務事務官 郡 祐一君

大藏事務官 上塚 保君

大藏事務官 池田 勇人君

專賣局長官 杉山 昌作君

大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月九日(金曜日)

午前十時十七分開議

出席委員

委員長 吉米地義三君

理事殿田 孝次君 理事中野 武雄君

理事八木佐太治君 理事松永 義雄君

理事山崎 常吉君 理事今井 耕君

小川原政信君 片岡伊三郎君

上林山榮吉君 田中 實司君

平岡 良藏君 飯島 祐之君

加藤 高藏君 松岡 運君

川島 金次君 榎原 千代君

玉井 潤次君 林田 哲雄君

米山 久君 太田鐵太郎君

原尻 東君 増井慶太郎君

山下 ツ子君 喜多橋治郎君

同日委員喜多橋治郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中野四郎君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

內務事務官 郡 祐一君

大藏事務官 上塚 保君

大藏事務官 池田 勇人君

專賣局長官 杉山 昌作君

大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月九日(金曜日)

午前十時十七分開議

出席委員

委員長 吉米地義三君

理事殿田 孝次君 理事中野 武雄君

理事八木佐太治君 理事松永 義雄君

理事山崎 常吉君 理事今井 耕君

小川原政信君 片岡伊三郎君

上林山榮吉君 田中 實司君

平岡 良藏君 飯島 祐之君

加藤 高藏君 松岡 運君

川島 金次君 榎原 千代君

玉井 潤次君 林田 哲雄君

米山 久君 太田鐵太郎君

原尻 東君 増井慶太郎君

山下 ツ子君 喜多橋治郎君

同日委員喜多橋治郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中野四郎君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

內務事務官 郡 祐一君

大藏事務官 上塚 保君

大藏事務官 池田 勇人君

專賣局長官 杉山 昌作君

大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月九日(金曜日)

午前十時十七分開議

出席委員

委員長 吉米地義三君

理事殿田 孝次君 理事中野 武雄君

理事八木佐太治君 理事松永 義雄君

理事山崎 常吉君 理事今井 耕君

小川原政信君 片岡伊三郎君

上林山榮吉君 田中 實司君

平岡 良藏君 飯島 祐之君

加藤 高藏君 松岡 運君

川島 金次君 榎原 千代君

玉井 潤次君 林田 哲雄君

米山 久君 太田鐵太郎君

原尻 東君 増井慶太郎君

山下 ツ子君 喜多橋治郎君

同日委員喜多橋治郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中野四郎君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

大藏大臣 石橋 湛山君

出席政府委員

內務事務官 郡 祐一君

大藏事務官 上塚 保君

大藏事務官 池田 勇人君

專賣局長官 杉山 昌作君

大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月九日(金曜日)

午前十時十七分開議

出席委員

委員長 吉米地義三君

ス」ノ本年ニ於ケル稅制改正デ、勤勞所得者三百萬人ガ課稅カラ免レルト云フコトヲ、大藏大臣ガ聲明シタサウデゴザイマスガ、私ハ寡聞ニシテマダ聞イテ居リマセヌ又サウ云フ事實ハ私ハ想像ニ難クナイト思ヒマス、併シハ戰勝國デアリマシテ、戰費ガソレダケ少クナリ、租稅ノ輕減ニ向ツテ進ムノハ「イギリス」トシテハ當然ダト思フノデアリマスガ、遺憾ナガラ我が國デハサウ云フ課稅ノ輕減ト云フ程度ニマデ至ツテ居リマセヌ、輕減ドコロカ、或ル程度増徴ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ狀況ハ、洵ニ遺憾デアリマスガ、已ムヲ得ナイコトト思ヒマス、「イギリス」ニ於キマシテ勤勞階級三百萬人ガ租稅外ニ置カレルニ致シマシテモ、尙ホ人口ニ對シマス所得稅ノ納稅者ノ割合ハ、我が國トハ比較ニナラヌ程、所謂一般國民ガ廣ク租稅ヲ納メテ居ルト、私ハ信

ジテ居ルノデゴザイマス
最後ニ勤勞所得者ノ生活狀況ヲ如何ニ見テ居ルカ、私ハ最近ノ物價事情等ニ鑑ミマシテ、所謂三月九日ノ緊急勅令ノ御制定ヲ仰ギマシテ、勤勞所得者ニハ現下ノ事情ヲ十分考ヘテ基礎控除ヲ四倍ニ引上げ、扶養家族ノ控除ヲ引上げマシテ、出來ルダケ負擔ノ輕減ニ努メ、今回程度ノ稅負擔ハ、大體已ムヲ得ナイモノト考ヘテ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ繰返シテ

中上デマスヤウニ、昭和二十年ノ所謂五千圓ノ所得者ト、昭和二十一年ノ五千圓ノ所得者トハ、其ノ負擔稅額ニ於テ、非常ニ減ツテ居ルノデアリマス、又偶ニ三月九日以後ノ輕減シタ場合ト、今度ノ百分ノ二「パーセント」引上げタ場合トヲ比ベマシテモ、五千圓ノ所得者ハ月六圓、一萬圓ノ所得者ハ月十二圓ノ負擔増ニ相成ルノデアリマシテ、此ノ程度ノ負擔増ハ已ムヲ得ナイモノト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○苦米地委員 川島君、內務大臣ガ見エマシタガ、
○川島委員 ソレデハ內務大臣ニ一言御尋ネテ申上ゲタイト思ヒマス、先般來、是ハ此ノ案ニ直接關係ハナイノデゴザイマスガ、地方制度ノ改正委員會ニ於キマシテ、引續イテ此ノ委員會ノ問題ノ焦點トナツテ居リマスノハ、公選知事ヲ公吏ニ扱フカ、官吏ニ扱フカト云フコトデアリマス、之ニ對シテ委員會ノ經過並ニ各派ノ兩三日来ノ情勢ニ依リマスレバ、地方制度ノ改革ヲ機會トシテ地方民權ノ伸暢、自治ノ自主的ナ發展等ヲ根據ト致シマシテ、公選知事ハ絕對公吏トスベキダト云フ意見ガ、大勢ヲ支配シテ參ツタヤウデアリマス、之ニ對シテ當局ハ種々ナル理由カラ知事ノ公吏制ニハ反對デアリマスガ、萬一議會ノ大勢

ガ、公選知事ヲ以テ公吏ト爲スト云フ結論ニ到着シ、修正意見ガ本會議ニ於テ通ルヤウナコトニナリマシタ場合、御當局ハ之ニ對スル御對處ノ用意ガアリマスカドウカ、此ノ一點ト、モウ一ツ續イテ御尋ネテ致シマスガ、昨今ノ國內ノ治安ハ極メテ惡化シツ、アリマス、果シテ今日ノ地方警察ノ人員ヲ以テ致シマシテ、其ノ治安ノ確保ニ萬遺憾ナキ御確信ガアリマスカドウカ、サウシテ今日ノ警察官ノ人員ヲ以テ十分デアルトノ御所見ヲ持ツテ居レルカ、此ノ二點ヲ御伺ヒ申上ゲタイ

○大村國務大臣 第一點デアリマスガ、地方制度ニ付キマシテハ衆議院デ只今審議ガ進行中デアリマシテ、ドウ云フ結果ニナリマスカ、多大ノ關心ヲ以テ私ハ之ヲ見テ居ルノデアリマス、併シ只今御尋ネニナリマシタヤウナコトニナリマシタ場合ニ於キマシテハ、ドウスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ其ノ場合ニ依リマシテ「私」存デモ處置致シ兼ネルコトデアリマシテ、開議ノ決定ヲ經テ提案ヲ致シタ案デアリマスノデ、其ノ修正ガ萬一アリマシタ場合ニドウ扱フカト云フ點ハ、能ク開議ニ於テモ熟議致シマシタ上デ、態度ヲ決定レルベキモノデアラウト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマスソレカラ第二點デアリマスガ、現在ノ警察力デ以テ現下

ノ社會情勢ニ對處シテ、治安ノ維持ガ十分ニ出來ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、會テ現在ノ警察力デハ十分デナイカラ、之ヲ増員増強シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ツタノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ關係方面トノ諒解ヲ得ルニ至ツテ居リマセヌ、故ニ現在ノ警察勢力ヲ以テ、政府ハ萬全ヲ期シテ治安ノ確保ニ當ルト云フ決心デ、凡ユル努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、固ヨリ我が日本ノ治安ノ維持ハ、今日ニ於キマシテハ專ラ日本警察ニ依ツテ維持シナケレバナラヌコトハ、申スマデモナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、進駐軍側ニ於キマシテモ、此ノ見解ノ下ニ始終鞭撻ヲ受ケテ居ル所デアリマス、サウシテ此ノ信念ノ下ニ日本警察ハ凡ユル努力ヲ致シテ、今マデ其ノ治安ノ維持ニハ大體ニ於テ成功シテ居ルト信ズルノデアリマス、今後ニ於キマシテモ其ノ信念ノ下ニ極力努力ヲ致ス積リデアリマス、尙ホ日本社會ノ治安ハ日本警察ノ責任デハゴザイマスガ、若シ日本ノ治安ガ案レテ、聯合國ノ占領目的ニ反スルト云フヤウナ事態ガ起リマシタ場合ニ於テハ、聯合國側ニ於テモ默ツテ居ラヌト云フコトハ、想像ニ難クナイノデアリマスルガ、其ノヤウナコトノナイヤウニ、今後日本警察トシテ十分努力スル積リデアリマ

ス、尙ホ聯合國ノ態度ハ只今中上デマスヤウナ次第デアリマシテ、日本警察ガ其ノ職能ヲ完全ニ果スベク、常ニ注意ヲ致シ監督ヲ致ス、乃至ハ出過ぎナイ限度ニ於ケル協力ト云フコトハ、陰ナガラ常ニサレテ居ル所デアリマシテ、私共ハ此ノ點ニ對シマシテハ常ニ深甚ノ感謝ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○川島委員 內務大臣ハ今ノ警察官ノ員數ヲ以テ治安ノ確保ニ遺憾ナキヲ期シテ居ルト同時ニ、大體ニ於テ今満足ノ狀態デアルト斯ウ仰シヤラレテ居ルヤウデアリマスガ、先般日本ノ司法警察制度ヲ視察サレマシタ「アメリカ」ノ「オスカ」・「オーランダー」ト云フ方ガ、「アメリカ」ニ歸リマシテ發表致シマシタモノヲ見マスルト、日本ノ警察官ハ二萬八千十分十分ダ、現在ノ警察官ハ私確實ナ數字ハ知リマセヌガ、大體推算致シマシテモ數萬ノ警察官ヲ配シテ居ルノデハナイカト思フ、ソレニ對シテ二萬八千十分十分ナリト云フ發表ヲサレテ居ルノデアリマス、若シ此ノ二萬八千十分今後ノ國內治安ヲ維持シナケレバナラヌト云フ事情ニ立至ツタ場合、其ノ場合ニ於ケル所ノ御當局ノ御見解ヲ私ハ此ノ機會ニ於テ承ツテ置キタイ

○大村國務大臣 只今御引用ニナリマシタ「オーランダー」氏ノ意見デアリマスガ、是ハ私共モ新聞

見デアリマスガ、是ハ私共モ新聞

紙ニ載ツテ居リマシタ以外ニ、特ニ詳シイ資料ヲマダ入手スルニ至ツテ居リマセヌ、併シテ新聞ニ報導サレマシタ記事ヲ能ク檢討シテ見マス、結局二萬八千ノ警察力十分ダト云フコトニハ大キナ前提ガアルノデアリマス、ソレハ人口五萬以上ノ市ノ警察ハ別ニ市警察トシテ打立テルコトニナツテ居リマス、サウシテ人口五萬以下ノ市及ビ町村ノ警察ハ、現在ニ於ケルガ如ク内務省及ビ府縣デ管理致シマス所ノ警察力デ、維持スルコトガ適當デアラウ、其ノ部分ノ警察力ハ二萬數千、凡ソ三萬ト云フ數字ニナツテ居ルヤウニ私ハアノ記事ヲ見タノデアリマス、果シテ其ノ通りデアルト致シマス、現在警察力ハ東京、大阪、其ノ他五萬以上ノ市ニ非常ニ集中シテ居ルノデアリマシテ、五萬以下ノ市及ビ一般町村ノ警察力二萬八千ト云フ數字ハ、大體現在ノ警察官ノソレ等ノ方面ニ配置シテ居ルモノト數字ハ大差ナイデアリマシテ、結局現在ノ警察力デ以テ、日本ノ治安ハ維持シタラ宜カラウト云フ聯合國側ノ見解ト、大ナル相違ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、序デニ中上ガテ置キマスガ、現在全國ニ配置シテ居リマス警察官ハ、概數九萬五千ガ定員ニナツテ居リマス、併シ實際問題ト致シマシテ缺員ガアリ勝チデアリマシテ、時ニ増減ハアリマスガ、通ジ

テ凡ソ一萬人ヲ上下スル程度ノ缺員ガアルノガ今日ノ狀態デアリマス、隨テ現在ノ日本ノ警察力ハ實員八萬五千前後ト云フヤウニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ數字ニハ消防官ハ入ツテ居リマセヌ
○川島委員 サウスルト現在ノ所デハ日本ニ於ケル警察官ノ人員、所謂定員ニ致シマシテ九萬五千ダケハ、當分ノ間承認ヲサレテ居ルト云フ形ニナツテ居ル譯デアリマスカ
○大村國務大臣 現在ノ所左様デアリマス、所デ此ノ點ニ付キマシテハ先ニ中上ガマシタヤウニ、警察力ハモウ少し充實スルコトヲ私共ハ希望シテ居ルノデアリマスカ、此ノ點ニ付キマシテ關係筋ノ諒解ヲ得ラレト思ヒマス點ニ付キマシテハ、或ハ鐵道大臣ノ管理下ニアル列車警察ヲ作ルトカ、乃至ハ密輸入ヲ取締ルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、大藏大臣ノ管理下ニアル稅關警察ヲ作ルトカ云フヤウナコトノ面ニ於キマシテハ、更ニ増強シ得ル餘地ガアルヤウニ考ヘマシテ、只今是等ノ點ニ付キマシテハ關係筋トモ打合せ中デアリマス、尤モ今例示致シマシタ中デ現實ニ打合せラシテ居リマスノハ鐵道警察ノ方デアリマス、サウ云フ風ナ内務省、地方廳ノ指揮下ニナイ警察ノ増員ニ付テハ可能ナ餘地ガアルヤウニ考ヘマシテ、只今打合せ中ノモノモアリマ

スシ、今後必要ニ依リマシテ打合セザ致シテ見タイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○川島委員 デハ前ノ質問ニ戻リマスガ、知事ノ公吏制ト云フ問題ガ、院議デ大多數デ以テ決定シタ場合ニ、政府トシテハ此ノ院議ヲ絕對ニ尊重スル御意思ヲ以テ臨ム考ヘデアルカドウカ、之ヲ此ノ際一寸御伺ヒシタイノデアリマス
○大村國務大臣 此ノ點ニ付キマシテハ、先ニ御答ヘ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、今後ノ審議ノ模様ヲ能ク拜見致シマシテ、政府ト致シマシテモソレニ對シテ如何ニ對處スルカト云フコトハ能ク相談ヲ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○川島委員 能ク御相談ヲシテ見タイト云フ御心持ハ能ク分ルノデアリマスガ、議會ニ於テ此ノ地方制度改革ニ關スル知事ノ問題ヲ絕對ニ公吏デナケレバナラヌノダト云フ決定ヲシタ場合ニ、政府當局トシテ其ノ院議ヲ絕對ニ尊重シテ臨ムコトガ私ハ民主主義デアラウト思フ、其ノ場合ニデモ尙且ツ色研究シナケレバナラヌト云フ御言葉ハドウ云フ意味ヲ言ハレテ居リマスガ、一寸了解ニ苦シムノデアリマスガ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○大村國務大臣 此ノ點ニ付キマシテハ、度々申上ゲマスヤウニ、御審議ノ模様モ能ク拜見致シマシ

テ善處シタイト思ヒマス、尙ホ少シ言葉ガ適當デナイカモ知レマセヌガ、假定的ノコトニ付キマシテ直チニ政府ノ見解——是ハ色々ノ條件ガアルコトデアリマスカラ、斯ウ云フ工合ニナツタト云フヤウナ場合ニ付キマシテモ、ナリマシタ經過、理由モアルコトデアリマシテ、將來ノコトヲ豫想致シマシテ、直チニ確定的見解ヲ此處デ述バルコトハ其ノ時期デナイト云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス
○川島委員 其ノ問題ハ是レ以上申上ゲマセヌガ、大臣ガ居ラレレ間ノコトデスカラモウ一言御伺ヒ致シマス、今度ノ市町村民稅並ニ新タニ設置サレマス所ノ府縣民稅、是ハ市町村民稅ハ大體ニ於テ四十圓、府縣民稅ガ六十圓ト記憶シテ居リマスガ、殊ニ府縣民稅ノ如キハ新シキ稅制デアリマシテ、相當ナ影響ガ各方面ニアルノデハナイカト憂フルモノデアリマス、殊ニ勤勞階級ハ院外ニ於ケル運動トシテモ殆ド絶叫ニ等シイ叫ビナラゲテ、勤勞所得稅ノ撤廢ヲ叫ンデ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ其ノ院外ニ於ケル所ノ大衆ノ聲ヲ無視シテ、寧ロ百分ノ十八カラ百分ノ二十二増稅ヲ斷行スルト云フ案ヲ我々ニ提出サレテ居ルノデアリマス、而モ其ノ上ニ勤勞大衆ニ取ツデハ其ノ市町村ニ歸レバ更ニ新タニ從來十二圓、九圓、六圓デ

アツタモノガ一躍四十圓ニ増大サレ、更ニ搗テ、加ヘテ府縣民稅トシテハ平均百圓ノ新稅ガ課セラレルト云フコトニナル譯デアリマス、勤勞大衆ノ立場カラ、是ハ同ジ國民トシテ同一デハアリマセウガ、殊ニ勤勞大衆ノ立場カラ見マスト、三重ノ大増稅ヲ玆ニ蒙ルコトニナルノデアリマス、我々勤勞大衆ノ仲間ト致シマシテモ、敢テ此ノ敗戰國家再建ノ爲ニ、分ニ應ジ、生活力ニ應ジテノ納稅ト云フモノノ精神ヲ忘レテ居ル譯デアリナイノデアアルマス、併シナガラ今日ノ勤勞大衆ノ生活ノ實情ハ、過般大藏當局カラモ御話ガアリマシタ如ク、勤勞所得ノ平均ノ收入ヲ見マシテモ、一箇年僅カニ五百五十圓ト云フ御話デアリマス、隨デ一箇月四百圓乃至四百五十圓ノ收入ガ勤勞大衆ノ一般的ナ而モ壓倒的ナ生活ノ實情デアラネバナラヌ、其ノ勤勞大衆ニ更ニ勤勞所得稅ハ百分ノ十八カラ百分ノ二十二増率サレ、其ノ上ニ市町村ニ歸レバ六圓或ハ九圓カラ一躍平均四十圓、府縣民トシテ更ニ平均ノ百圓、六十圓、斯ウ云フコトヲ私共ハ考ヘマス、而モ其ノ上ニ、御當局モ略ニ御想像ト思ヒマスガ、今マデ勤勞所得ヲ納メテ居ル所ノ所謂中堅階級ノ上ニ、此ノ新タナル市町村民稅並ニ府縣民稅ガ増加サレテ參ル譯デアリマス、ソレデナクテモ今日ノ勤勞大衆ノ生活ガ

收入ト「アンバランス」ニナツテ全ク文字通りノ家計失調ヲ起シ、家庭生活ヲ根本カラ破壊サレルヤウナ脅威ニ曝サレテ居ルノミナラズ、政府ノ過般來ノ軍需補償ノ打切り問題ヲ契機ト致シマシテ、新タニ今眞面目ニ正シク努力ヲ奉仕シテ居リマス所ノ労働階級ノ中ニ多數ノ失業ヲ出サウトシテ居ル、隨テ今勤勞所得稅ヲ納メテ居ル中ニモ失業ノ脅威ニ曝サレテ居ル者ガ相當多數ニ及ブノデハナйкаト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘマシタ場合ニ、内務大臣ニ於カレマシテハ、勤勞階級ニ課セラレル所ノ府縣民稅、市町村民稅、更ニ一方ニ於テハ勤勞所得稅ノ過重、此ノ三増稅ニ依ツテドンナ影響ガアルカト云フコトニ對シテ綿密ナ檢討ヲサレタコトガアルカ、同時ニドンナ御考ヘヲ今日持タレテ居リマセウカ、ソレヲ御伺ヒテ中上ゲタイト思フノデアリマス

ノ點ニ付キマシテハ國民各位ノ十分ナル御諒解ト御協力トヲ御願ヒセザルヲ得ナイノデアリマス、而シテ此ク財政上ノ要求ト云フモノハ國ニ於テモ巨大ナモノガアリマシ、又地方團體ニ於キマシテモ甚ダ痛切ナモノガアルノデアリマス、殊ニ戰災ヲ受ケマシタ地方團體等ニ於キマシテハ、一層其ノ程度ガ強イノデアリマス、所デ之ヲ凌グ方法ト致シマシテハ、地方團體ガ團體民ノ負擔ニ依ツテ凌グカ、或ハ之ヲ國庫ノ援助ニ俟ツカト云フ二ツノ方法シカ大體ニ於テナイト思フノデアリマス、然ルニ國庫ノ援助ト云フコトニ付キマシテハ、國庫財政ノ窮迫狀態カラ致シマシテ、無限ニ國庫ニ仰グ譯ニハ行カナイノデアリマス、堪ヘ難イコトデハアリマス、堪ヘ得ル最高限度ニ於キマシテハ各地方團體民ノ負擔ノ分任ニ俟ツ外ハナイト思フノデアリマス、而シテ一面ニ於キマシテハ地方制度ヲ民衆化スルニ伴ヒマシテ、ソレノ裏付ケヲナシマス所ノ財政ノ自主性、自律性ト云フコトハ必ズ伴ハナケレハナラヌコトト信ズルノデアリマシテ、其ノヤウナ見解カラ府縣民稅及ビ市町村民稅ト云フヤウナ負擔分任ノ趣旨ニ適スル所謂人稅ヲ創設シ、若シクハ之ヲ大幅ニ増額スルト云フコトニ致シタノデアリマス、併シ是ガ實際ノ負擔問題ニ付キマシテハ、各地方團體ノ自

主、自律性ニ依リマシテ、市町村民ノ間ニ負擔ノ不均衡ノナイヤウナ取り方ヲ私共ハ期待致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ是ハ單ニ期待スルノミナラズ、能ク此ノ市町村民ノ負擔ノ均衡ヲ圖ルニ付テ注意スベキ點ハ、具體的ニ數字的ニ之ヲ明カニ致シマシテ、各地方團體ニ於テ實際上ノ賦課ニ際シマシテハ、ソレ等ノ正確ナル基礎資料ニ基イテ誤リナキヲ致シヤウニ、十分、コチヲ方ト致シマシテハ協力ヲシ、勸告ヲスル積リデ居リマス、サウシテ又只今御話ノアリマシタヤウナ勤勞階級ノ増負擔ニ付キマシテモ、實ハ敗戦後ノ今日ト致シマシテ、財產課稅ト云フヤウナ點ニ於キマシテハ、終戦後ノ實情ト致シマシテ多ク期待スルコトハ出來ナイ、今後日本ノ經濟ノ中心ハ御話ノ通ル労働階級或ハ農業階級ト云フヤウナ中産階級ニ移行スル傾向ニアアルノデアリマシテ、是等ノ方々ガ國家ノ重キニ任ジテ、分ニ應ジタ負擔ヲ御願ヒラスルト云フコトハ、新事態ノ上ニ於キマシテ洵ニ已ムヲ得ザル所デアリマス、又ソレダケノ元氣ヲ出シテ戴カナケレバナラヌコトデモアリマス、併シ勤勞所得及ビ資産所得ノ間ノ均衡ニ付キマシテモ、各地方團體ニ於キマシテハ、人稅ノ課稅上ニ於テ十分ナル考慮ヲ加ヘラレルコトヲ期待致シテ居ルノデアリマス、尙ホ又ソレ等ノ點ニ

付キマシテモ必要ル資料ヲ提供シ、注意ヲ喚起シ、又地方團體ニ出來ルダケ行キ届イタル勸告ヲ致ス積リデ居ルノデアリマス

○川島委員 續イテ此ノ問題ニ付テ大藏當局ニ御伺ヒシマスガ、最近官公吏ノ給與改善ガ實施サレマシテ、其ノ結果大體四、五割程度ノ收入ノ改善ガ得ラレタノデアリマス、私ガ多少關係シテ居リマス労働組合ノ或ル個人ヲ取りマシテ調査ヲ致シタノデアリマスガ、國鐵ニ奉職致シマシテ既ニ三十二年、今度ノ給與改善ニ依リマシテ大體月收八百圓ニナルノデアリマス、從來ハ五百圓乃至五百五十圓ソレガ八百圓ニ月收ガ引上ゲラレタト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、既ニ老年ノコトデアリマスカラ、子供達ガ三人居ル、其ノ一人ノ子供ハヤハリ或ル方面ニ就職致シマシテ、是レ亦給與改善ニ遭遇致シマシテ漸ク月收引包メマシテ三百圓、モウ一人ノ子供モ三百圓、其ノ家庭デハ遊ンデ居ル者ハ細君トモウ一人小サナ子供、斯ウ云フ親子五人家族ノ生活デアリマス、此ノ父親ノ八百圓ト子供ノ三百圓平均二人分六百圓、併セテ一千四百圓ノ收入ガアルノデアリマスガ……

○苦米地委員長 モウ内務大臣ヘノ質問ハ宜シウゴザイマスカ

○川島委員 宜シウゴザイマス——之ニ對シテ今度ノ過酷ナ増稅ニ依リマス、普通ノ稅ニ於キマシテ年額千七百五十六圓、之ニ綜合所得稅ガ二千三百八十圓ニナリマス、ソレニ依ツテ實際納メル年額ノ税金ハ實ニ四千三百三十六圓ト云フ莫大ナ數字ニナツテ參ル、親子三人ガ、而モ國鐵ニ奉職シテ其ノ子弟ヲ養ヒ、辛ウジテ自分ガ老後ノ樂シミトシテ居ル子供二人ノ勤勞デ得ラレル月收ガ三百圓ツツノ六百圓、サウシテ父親ハ今度ノ行政整理、或ハ來ルベキ整理ニ依ツテ失業ノド底ニ突落サレナケレバナラナイト云フ老齡ニナツテ居ル譯デアリマス、サウ云フ家庭ニ於テスラモ、實收ニ於テハ、本來デアリマスナラバ月一千四百圓デアリマスカラ相當ナ年收ニナルノデアリマスガ、所得稅並ニ綜合所得稅ヲ加ヘマシテ四千三百三十六圓ト云フ相當ナ數ヲ額ヲ取ラレルノデアリマシテ、實收額ハ遂ニ一萬一千六百六十四圓ニナリマス、斯ウ云フ勘定ヲシマス親ノ一箇年ノ收入ト子供二人毎月六百圓ツツ餘計働イテ居ツテモ、尙且親一人ノ全收入ニ餘リニ劣ラナイト云フ結果ニナツテ參ルノデアリマス、斯ウ云フ實情ガ何處ニモアルノデアリマス、今ノ労働階級ノ生活ト云フモノハ、大體ニ於テ一人ノ勤勞收入ニ於テハ生活ハ成立タヌノデアリマス、從來勤勞ニ依リマシテ勤儉貯蓄ヲ致シマシタ

預貯金ハ既ニ使ヒ果シ、中ニハ算
算ノ底ヲ拂ツテ居ル者モ實際ニハ
アルノデアリマス、而モサウ云フ
生活ノ實況ヲ續ケテ居ル勤勞大衆
ニ、尙且斯ノ如キ高率ナ稅ヲ徵收
シ、其ノ上ニ只今申上ゲマシタヤ
ウニ新タニ府縣民稅モ課ツテ來
ル、更ニ市町村民稅ニ對シマシテ
モ大幅ナ空前ノ引上ゲデアリマ
ス、此ノ三方攻メノシマセウ
カ、斯様ナ狀況ニ於テ果シテ勤勞
者ノ勤勞意欲ト云フモノガヨリ一
層旺盛ニナルカドウカト云フコト
ヲ私ハ綜合的ニ心配スル一人デ
アリマス、先程申上ゲタノデアリ
マスガ、全國ニ膨湃トシテ勤勞階
級カラハ所得稅ノ撤廢ガ叫バレテ
居リマス、而モ是ガ矢先ニ於テ政
府當局ハ其ノ聲ニ應ヘズシテ、逆
ニ逆轉的ニ寧ろ増稅ヲ斷行スル、
更ニ厚生省ノ方面ニ於キマシテハ
勤勞者ノ團結權、團結權ト同時ニ
併セテ唯一ノ武器デアアル爭議權ヲ
モ、公共機關ノ事業ニ携ハル勤勞
者ニ對シテハ殆ド禁止的ナ法令ヲ
今提案中デアリマス、私ハ之ヲ見
マス、一體勤勞者ノ所謂民主體
制ヲ政府ハ助成育成スルト云フヤ
ウナ、言葉デハ美シク、如何ニモ
勤勞者ニ理解アル、如何ニモ勤勞
者ニ深イ愛情ヲ示シテ居ルヤウナ
御言葉ガ屢々當局カラ繰返サレテ
居ルノデアリマスガ、其ノ實ニ於
テハ只今申上ゲマシタヤウニ、一
方ニ於テハ増稅ヲ斷行シテ勤勞者

ニ取ツテノ外濠ヲ埋メ、又更ニ一
方ニ於テハ禁止ニ等シイ勞働關係
調整法ヲ提出シテ、之ヲ實施スル
コトハ、勤勞階級人ニ取ツテ今度
ハ内濠ヲ埋メラレル、斯様ナ感じ
ガ私ハヒシ／＼トスルノデアリマ
ス、殊ニ大藏大臣ニ於カレマシテ
ハ、軍需補償ノ打切ニ伴ヒ敗戦日
本ノ再建ヲ圖ル爲ニハ、先ヅ勤勞
階級ノ旺盛ナル勤勞意欲ヲ湧出サ
セテ實ハナケレバナラヌ、其ノ爲
ニハ國家ハ凡ユル努力ヲ惜マナイ
トノ御決意ヲ屢々繰返ヘシテ述ベ
ラレテ居リマスガ、實際カラ申上
ゲマスルナラバ、私ハ寧ろ今日ノ
政府當局ノ御施策ト云フモノハ、
勤勞階級ノ萌出シタル所ノ旺盛
ナル勤勞意欲ナルモノニ對シテ
一沫ノ冷水ヲ浴ビセルヤウナ施策
ヲヤツテ居ルデハナイカ、ソレガ
總テハ敗戦日本ノ再建ニ必要デア
ル所ノ經濟ノ再建ノ重點デアリ基
礎デアリ基礎デアアル所ノ勤勞意欲
ト云フモノニ重大ナ阻碍ヲ來ス、
斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マシタ時
ニ、私ハ此ノ勤勞者ノ絶叫ニ對
シ、勤勞階級ノ叫ビニ對シテ一體
政府當局ハ本當ニ何處マデ考ヘテ
居ラレルノデアリマスガ、ソレヲ
私ハ此ノ機會ニ大藏大臣カラ一言
御伺ヒヲ申上ゲタイト思フノデア
リマス

譯デアリマスガ、其ノ負擔ガ容易
デナイト云フコトハ御話ノ通りデ
アリマス、併シソレニ對シテ先程
内務大臣カラ屢々事情ヲ申述ベラ
レマシタガ、私モ内務大臣ガサツ
キ申述ベラレタト同ジヤウニ考ヘ
テ居ル譯デアリマス、是ハ所謂勤
勞階級バカリデハナク、同ジヤウ
ナ叫ビハ、是ハ成程大衆運動ノ形
ハシテ居リマセヌデセウケレド
モ、企業家ノ方面ニモ今回ハ増稅
トスル財產稅、或ハ又今度ノ増稅
ニ於キマシテモ事業所得、或ハ資
產所得ト云フモノハ非常ニ重課サ
レルノデアリマスカラ、ヤハリ同
ジヤウニコンナニヤラレタノデハ
俺達ノ働ク希望ハナクナツテシマ
フ、是ハ戰時中カラ左様ナ叫ビガ
アツタ譯デアリマスガ、ソレハ一
面洵ニ尤モナコトデアリマスケレ
ドモ、併シナガラ全體ノ日本ノ經
濟ヲ考ヘレバ、先程内務大臣カラ
モ御話ガアリマシタヤウニ、要ス
ルニ是ガケノ非常ナ損害ヲ受ケテ
生産ハ減リ、詰リ國民ノ生活水準
ト云フモノガ全體ニ下ラザルヲ得
ナイ狀況ニ陥ツテ居ル譯デアリマ
ス、デアリマスルカラ此ノ場合ニ
於テ勤勞階級ト言ハズ、總テノ職
域ニ於ケル國民ガ何レモ其ノ生活
程度ヲ下ゲル、即チソコヘ持ツテ
行ク爲ニハ、其ノ乏シイ所得ノ中
カラ苦シイナガラモ稅ヲ出サナケ
レバナラヌト云フコトハ、洵ニ已
ムヲ得ナイコトデアルト考ヘルノ

デアリマス、此ノ際ソレニモ拘ラ
ズ勤勞者ハ勤勞意欲ヲ燃ヤシ、企
業家ハ企業意欲ヲ燃ヤシテ、全國
民ガ打ツテ一丸トナツテ増產ニ努
メ、早ク此ノ窮境カラ脱スル以外
ニ途ハナイト私ハ考ヘテ居リマ
ス、勤勞所得稅撤廢ト云フ叫ビハ
能ク存ジテ居リマスガ、併シ是ハ
累次申上ゲマスヤウニ、稅制トシ
テハ只今勤勞所得稅ヲ撤廢スルト
云フコトハ實際ニ不可能デアリマス
ソレカラ増稅ニ付テハ只今申上
ゲマシタヤウナ理由デ、苦シイケ
レドモ勤勞所得者モ此ノ國家危急
ノ場合ニ應分ノ負擔ヲシテ戴ク外
ハナイ、斯様ナ譯デアリマシテ、
要ハ國家ノ經濟ヲ早ク建直シテ、
勤勞所得稅ノ如キハ例ヘバ稅制ニ
於テ之ヲ止メラレナイト致シマシ
テモ、其ノ稅率ノ如キハドン／＼
下ゲラレト云フ狀況ニ、早クオ
互ヒガ努力シテ持ツテ行クト云フ
以外ニハナイノデアリマシテ、
屢々申上ゲマスヤウニ勤勞所得稅
ノ増稅ヲ止メルト云フコトデアリ
マスレバ、ソレダケヤハリ歳入ノ
缺陷ヲ生ジ、ソレヲ何デ「カバー」
スルカト云フト、川島君モ御心配
ニナリ、私モ心配シテ居ルヤウ
ニ、結局通貨ノ増發ニ依ツテ之ヲ
賄ハナケレバナラヌト云フコトニ
ナルノデアリマス、ソレデハ却テ
復興ヲ妨グルコトニナル譯デアリ
マス、現在生活シテ居ル國民ガ出
來ルダケノ負擔ヲ致シマシテ此ノ

復興ヲ圖ルト云フコトガ、國民ノ
總テノ階級ノ今日ノ義務ダ、又是
ガ國家ニ盡ス途デアアル、斯様ニ
非一ツ御考ヘ下サイマシテ、苦シ
イ事ハ能ク分リマス、凡ユル者ガ
皆苦シイノデアリマス、ソレニ依
ツテ此ノ危局ヲ乗切ルヤウニ一ツ
是非御盡力ヲ御願ヒ致シタイト思
ヒマス

○川島委員 先般大藏大臣ハ今ノ
稅制ト云フモノハ全面的ニモウ改
革ヲ必要トシテ居ルコトヲ痛感シ
テ居ル、其ノ場合ニ稅制ノ根本的
ナ大改革ヲ實施シタイ、其ノ改革
ニ付テハ政府ハ白紙デ臨ミ、凡ユ
ル方面ノ階層ヲ代表シタ總智慧ヲ
集メテ稅制ノ根本的ナ改革ヲ實施
シタイ、洵ニ其ノ御所信ハ了トス
ルノデアリマスガ、其ノ場合ニ其
ノ審議機關ニ於テ勤勞所得稅ノ大
幅ノ改廢意見ト云フモノガ多數デ
アツタ場合、ソレニ對シテ今カラ
サウ云フコトヲ御尋ネスルコトハ
愚見デハアリマスルガ、豫メ私共
承知シテ置キタイノデアリマス
ガ、サウ云ツタ場合ニ大藏當局ハ
ドンナ考ヘ方ヲ以テ對處スル積リ
デアアルカ、若シ新タニ稅制刷新委
員會ガ出來マシテ、其ノ委員會ニ
於テ大勢ガ所得稅ノ撤廢ニ近イ結
論ニ達シタ場合、大藏當局ハ素直
ニソレヲ承認サレテ、其ノ意見ヲ
取入レルト云フ御考ヘヲ將來持ツ
テ實ヘルカドウカ、之ヲモ併セテ
御伺ヒシタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 調査シタ結果新

シイ何等カノ稅制ノ立案ガ出來マシテ、其ノ案ナルモノガ單ニ政治的、或ハ感情的ト云フモノデハナク、本當ニ合理的ナ稅制デアラナラバ、無論大藏大臣トシテハ之ヲ採擇スルニ各カデハアリマセヌ

○川島委員 序デニ御伺ヒシマス

ガ、軍需補償打切ニ伴ツテノ企業再建、經濟再建ガ當面重大ナ問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ再建ノ圖ル中小工業ノ工場ニ對スル資金ト云フモノハ銀行ニ賴ラザレバナラナイ、要スルニ工場ノ生殺與奪ノ權ハ專ラ銀行ノ窓口ニ掌握サレテ居ルト云フ形ニナル、今後モ引續キソレガ相當ナ強イ形デ續行サレルトデハナイカト思フノデアリマス、其ノ場合ニ一體銀行ト云フヨリハ寧ろ大藏當局ハ、事業ノ當面ノ利益性ニ付テ重點ヲ置イテ融資スルノデアアルカ、ソレトモ事業其ノモノノ本質、即チ産業ノ性質如何ニ依ツテ、ソレヲ重點ニ置イテ融資ヲ活潑ニヤラウト云フ御方針デアアルカ、サウ云フコトニ付テ若シ地方ノ銀行ニ最近御指示ガアツタトシマスレバ、其ノ指示ノ内容ヲ此處デ御聽カセテ願ヒタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 一般ノ金融機關

ガ融資ヲ致シマス場合ハ、無論其ノ金融機關ノ責任デ融資ヲシナケレバナラヌノデアリマスカラ、其ノ融資ガ還ツテ來ナイ、元利ノ損

失ヲ來スト云フ場合ニハ、是ハ融

資ガ出來ナイノハ當然デアアリマス、又ソレデ宜イト私ハ考ヘテ居リマス、隨テソレハ今ノ川島君ノ言葉デ言ヘバ或ハ利益ヲ中心トシテ融資スルト云フコトニナリマセウ、一應ハソレデ宜イノデアリマ

○川島委員 序デニ御伺ヒシマス

スガ、斯様ナ變動ノ場合ニハソレダケデハイケマセヌノデ、詰リ國家全體ノ經濟ノ上カラ考ヘテ、此ノ産業ハ殘サナケレバナラヌ、併シナガラ現狀ニ於テハ赤字デアアルカラ普通ノ金融機關デハ是ハ危險デ融資ガ出來ナイト云フ聲ガ起リマスノデ、ソレヲ救フ爲ニ現在興業銀行デヤラセル、是ハ近イ中ニ正式ナ機關トシテ出發致サウトシテ居リマス所ノ復興金融ガ之ヲ取扱フ譯デアリマス、此ノ復興金融ニハ貴衆兩院ノ議員等カラ編成サレル所ノ委員會ガ出來マシテ、普通ノ金融機關デハ融資ノ出來ナイ、詰リ其ノ方デ拒絕サレタモノ、ソレヲ此ノ委員會デ審査致シマシテ、復興金融デ融資スル、斯ウ云フ大體ノ仕組ニ致ス積リデアリマス

○川島委員 サウスルト、其ノ場

合ニ主トシテ産業別ニ重點ヲ置イテ融資ノ方法ヲ考ヘル、斯ウ云フコトニナルノデスカ

○石橋國務大臣 一寸今御言葉ガ

ハツキリシマセヌガ、要スルニ各産業ニ於テ此ノ企業ハ是非トモ必

譯デス

○川島委員 其ノ必要ナリト云フ判斷ニ基イテ融資スルノハ分ツテ居マスガ、其ノ必要ダト云フ企業ト云フモノ白體、今日既ニ計畫ニナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、銀行ニ唯融資ヲ放任

○石橋國務大臣 此ノ御尋ネハ重

要産業ニ付テハ既ニ其ノ計畫ガアル譯デアリマス、唯細カイ雜貨デアルトカー々サウ云フモノニ付テドレガドウト云フ細カイ所マデハ及ンデ居ナイト思ヒマス、併シツレハ又實際ニ於テハ中央ニ於テ細カイ未マデノ計畫ヲ立テテ行クト云フコトハ恐ラク困難デアリマス、デスカラ重要ナ産業ニ付テハ御承知ノヤウニ日本ニ殘サレル平和産業ト云フモノガドレダケノモノデアアルカド云フコトハ大體桿ガ決ツテ居リマス、今マデ各統制會其ノ他ノ機關デ補償問題ナド研究モ致シ、其ノ間ニ商工省等ニ於テハ決ツテ居リマス、其ノ棒ト申シマスカ、其ノ計畫ノ下ニ於テ、肥料ハ斯ウスル、製鐵ハ斯ウスル、石灰ハ斯ウスルト云フ風ニ決ツテ行ク譯デアリマスカラ御心配ニナルコトハナイ、其ノ他地方ニ於ケル中小企業等ニ至リマス、物ニ依ツテハ無論重要ナ、例ヘバ自轉車トカ何トカ云フモノニ付テハ或ル程度ノ計畫ガアルト考ヘテ居リマスガ、未々マデノ何モ彼モト云フ譯ニハナツテ居リマセヌ、是ハソレノ地方其ノ場合ノ判斷ニ依ツテ必要ナモノヲ助成シテ行ク、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○川島委員 大藏大臣ハ此ノ間カ

ラ、中小工業ト云フモノハ産業再建ノ基盤ダト云フヤウニ言ハレ、我々モ御意見ニ同感ノ意ヲ表シタノデスカ、今ノ御言葉デハ、「エー・クラス」ト云フ様ナ企業ニ付テハ新聞紙上其ノ他政府當局ノ御言葉ニ依ツテ全國的ニ分ツテ來タ、所ガ、私ノ言葉ガ當ツテ居ルカドウカ分ヲヌガ、「ビー・クラス」ト云フモノガアルトスレバ、是等ノ「クラス」ニ屬スル方面ノ企業ト云フモノナドウスレバ宜イカ、ソレハ企業家ノ創意ニ任セレバ宜イデハナイカト云フノデアリマセウガ、私ハソレデハイカヌト思フ、寧ろ重要産業ニ附隨スル「ビー・クラス」「シー・クラス」ニモ或ル程度ノ計畫のナ基本ヲ政府ガ親切ニ示シテヤツテ、ソレニ今迷ツテ居ル中小工業ノ努力、設備、技術ヲ總動員スルト云フコトニナラナケレバ私ハ本當ノ産業再建ニハナラナイト考ヘルノデアリマス、今マデノ御言葉ニ依リマス、ト「エー・クラス」程度ノコトハ分ツテ居ルガ「ビー」或ハ「シー」ト云フ方面ニ付テハ殆ド政府當局モ何モ言ツテ居ラヌ、新聞ヤ「ラヂオ」等デモ何モ言ツテ居リマセヌカラ、中小工業ノ者ハ如何ニ處スベキカト云フコトニ今日非常ニ迷ツテ居ル譯デアリマス、其ノ點ニ付テ一日モ早ク其ノ方面ニ對スル具體的ナ計畫のナモノヲ立テラレテ、金融

タナラバ教ヘテ願ヒタイト思ヒ

マス

○石橋國務大臣 此ノ御尋ネハ重

要産業ニ付テハ既ニ其ノ計畫ガアル譯デアリマス、唯細カイ雜貨デアルトカー々サウ云フモノニ付テドレガドウト云フ細カイ所マデハ及ンデ居ナイト思ヒマス、併シツレハ又實際ニ於テハ中央ニ於テ細カイ未マデノ計畫ヲ立テテ行クト云フコトハ恐ラク困難デアリマス、デスカラ重要ナ産業ニ付テハ御承知ノヤウニ日本ニ殘サレル平和産業ト云フモノガドレダケノモノデアアルカド云フコトハ大體桿ガ決ツテ居リマス、今マデ各統制會其ノ他ノ機關デ補償問題ナド研究モ致シ、其ノ間ニ商工省等ニ於テハ決ツテ居リマス、其ノ棒ト申シマスカ、其ノ計畫ノ下ニ於テ、肥料ハ斯ウスル、製鐵ハ斯ウスル、石灰ハ斯ウスルト云フ風ニ決ツテ行ク譯デアリマスカラ御心配ニナルコトハナイ、其ノ他地方ニ於ケル中小企業等ニ至リマス、物ニ依ツテハ無論重要ナ、例ヘバ自轉車トカ何トカ云フモノニ付テハ或ル程度ノ計畫ガアルト考ヘテ居リマスガ、未々マデノ何モ彼モト云フ譯ニハナツテ居リマセヌ、是ハソレノ地方其ノ場合ノ判斷ニ依ツテ必要ナモノヲ助成シテ行ク、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○川島委員 大藏大臣ハ此ノ間カ

ラ、中小工業ト云フモノハ産業再建ノ基盤ダト云フヤウニ言ハレ、我々モ御意見ニ同感ノ意ヲ表シタノデスカ、今ノ御言葉デハ、「エー・クラス」ト云フ様ナ企業ニ付テハ新聞紙上其ノ他政府當局ノ御言葉ニ依ツテ全國的ニ分ツテ來タ、所ガ、私ノ言葉ガ當ツテ居ルカドウカ分ヲヌガ、「ビー・クラス」ト云フモノガアルトスレバ、是等ノ「クラス」ニ屬スル方面ノ企業ト云フモノナドウスレバ宜イカ、ソレハ企業家ノ創意ニ任セレバ宜イデハナイカト云フノデアリマセウガ、私ハソレデハイカヌト思フ、寧ろ重要産業ニ附隨スル「ビー・クラス」「シー・クラス」ニモ或ル程度ノ計畫のナ基本ヲ政府ガ親切ニ示シテヤツテ、ソレニ今迷ツテ居ル中小工業ノ努力、設備、技術ヲ總動員スルト云フコトニナラナケレバ私ハ本當ノ産業再建ニハナラナイト考ヘルノデアリマス、今マデノ御言葉ニ依リマス、ト「エー・クラス」程度ノコトハ分ツテ居ルガ「ビー」或ハ「シー」ト云フ方面ニ付テハ殆ド政府當局モ何モ言ツテ居ラヌ、新聞ヤ「ラヂオ」等デモ何モ言ツテ居リマセヌカラ、中小工業ノ者ハ如何ニ處スベキカト云フコトニ今日非常ニ迷ツテ居ル譯デアリマス、其ノ點ニ付テ一日モ早ク其ノ方面ニ對スル具體的ナ計畫のナモノヲ立テラレテ、金融

ト税混合ハセテ其ノ再建ヲ助長ス
ルト云フコトガ絕對ニ必要ナル
ト思ヒマスガ、其ノ御用意ガアル
カドウカ伺ヒタイノデアリマス。
○石橋國務大臣 是ハ主トシテ商
工省ガヤルコトデゴザイマスカラ
細カイコトハ中上ノ兼ネマスガ、
御話ノ所謂「エー・クラス」ノ企
業ト云フモノニ付テ一ツノ計畫
ガ立テバ、自ラソレニ附隨スル
「ビー・クラス」ト云フヤウナモノ
ノ計畫ガ出テ來ルコトハ當然デア
ルト思ヒマス、私ガ先程中上ノ格
ノハ、例ヘバ製鐵業、機械工業、自
轉車業、斯ウ云フモノ以外ニ日本
ニハ非常ニ細カイ種々ノ産業ガア
リマス、或ハ是カラ與サナケレバ
ナラヌ色々ノ事業ガアル、サウ云
フモノニ付テノ中小企業ヲドウス
ルカト云フコトハ、是ハ私カラ斷
言ハ出來マセヌガ、恐ラクマダン
コマデ計畫ガ立ツテ居ナイノデヤ
ナイカト思ヒマスノデ、ソレハソ
レゾレノ場面ニ當ツテ金融機關ト
シテハ適當ニ處置ヲ講ズル、無論
其ノ場合他ノ産業トノ鈞合等ヲ考
ヘテ行クト云フ處置ヲ私トシテハ
執ラウト云フ譯デアリマス。
○川島委員 其ノ問題ハ私初メカ
ラ大藏大臣ニ聴クノハ無理ダト思
ヒマシタガ、企業整備ノ大本山デ
アリマスカラ御尋ネ申上ゲタ次第
デアリマス、續イテ御尋ネ致シタ
イノハ、現在地方ニ所得稅ノ徵稅
機關ト申シマスカ、公正ヲ期スル

爲ニ所得稅調查委員會ト云フモノ
ガ長イ間存續シテ居ル、併シ是ハ
率直ニ申上ゲマセバ、當局ハド
ウ考ヘテ居ルカ分リマセヌガ、有
名無實ノ在存ダト私ハ思ツテ居リ
マス、殊ニ斯ウ云々經濟變轉ノ事
情下ニ於テ少シモ胡麻化スコトノ
出來ナイ所得稅ノ調査ヲスル場
合、今ノ有名無實ノヤウナ存在機
關ヲ此ノ儘當局ハ置イテ行ツテ、
アノ委員會ヲ運用シテ行カウト云
フノカ、ソレトモ此ノ際委員會ヲ
斷乎廢止シテ新タニ國民全體ガ、
所謂納稅者ガ納得ノ出來ルヤウナ
機關ヲ作ツテ、其ノ所得稅ノ徵稅
ノ公正ヲ期サウト云フノカ、此ノ
點ニ付テノ御考ヘヲ伺ヒタイト思
ヒマス。
○石橋國務大臣 此ノ問題ハ昨日
デアリマシタカ、慥カ此ノ委員會
デ所得稅調査委員會ヲ廢スルト云
フ説ガアルガ當局ハドウ考ヘテ居
ルカト云フヤウナ御尋ネガアリマ
シテ、其ノ際政府委員カラ御答ヘ
シタ譯デアリマス、是ハ目下色々
ナ説ガアリ、今川島君ハ無用ダト
云フ御批判デアリマスシ、又サウ
デナイト云フ御批判モアルヤウデ
アリマス、色々ノ説ヲ當局トシテ
モ聞イテ居リマス、ソレカラ「ア
メリカ」等ノ制度ニ付テモ色々ノ
話ガアルヤウデアリマス、所得稅
調査委員會ト云フ今ノ制度ヲ其ノ
儘ニ有效ナモノニシテ存續シテヤ
ルカ、ソレトモ又他ノ制度ヲ考ヘ

テ行カウト云フコトニ付テハ目下
研究中デアリマス、尙ホ詳シイコ
トハ政府委員カラ述ベサシテモ宜
イノデアリマスガ、モウ既ニ昨日
カ、此處デ述ベタコトデアリマス
○川島委員 又更ニ繰返シテ中上
デマスガ、此ノ勤勞所得稅ノ問題
ニ付テ、勞働組合若シクハ其ノ他
ノ諸團體ニ於テ、一ツノ勞働爭議
ノ方法トシテ滞納ノ舉ニ出ルヤウ
ナコトガアリマシタヤウナ場合
ニ、大藏當局ハ法律的或ハ政治的
ニドウ云フ方法ヲ以テ之ニ對處ス
ルコトニナリマセウカ、御伺ヒ致
シマス。
○石橋國務大臣 稅法ガ此ノ民主
主義ニ基イタ議會ヲ通過シマシタ
場合ニ、私ハ勞働階級ガ之ヲ滞納
スルト云フコトハナイト信ジテ居
リマスカラ、別段ソレニ對スル對
策ハ考ヘテ居リマセヌ。
○川島委員 現在既ニ勤勞階級ハ
所得稅ノ撤廢ヲ叫ンデ居ルト云フ
コトハ、繰返シテ私ガ申シタ通り
デアリマス、而モ勤勞階級ガ食フ
ニ食ハレズ、今ノ賃金値上等ノ問
題モサウ云フヤウナ生活問題デア
ルコトモ御承知ノ通りデアリマス、
大藏大臣ハ恐ラク御承知デナイト
思ヒマスガ、今全國的ニ遅配ト缺
配デス、ソレニ代ルニ粉ト馬鈴薯
デ一般ノ國民ハ全部食ツテ居ルノ
デス、而モ其ノ上ニ配給サレタ粉
ト馬鈴薯デハ輕勞働ニサヘモ耐ヘ
ラレナイト云フヤウナ實情デアリ

マス、私ハモウ既ニ一箇月間米粒
一ツモ食ベテ居リマセヌ、恐ラク
全國ノ勤勞階級、全國ノ國民モ等
シク此ノ苦難ヲ味ツテ居ルノデハ
ナイカ、而モ配給サレタ馬鈴薯ヤ
粉デハトモ勞働スルト云フコト
ニハ一日ヤ二日ハ宜イトシマシ
テ、三日トハ耐ヘラレナイト云フ
ノハ私ノ經驗ニ徴シテハツキリシ
テ居リマス、ソコデ國民勤勞階級
ト云フモノハ何等カノ方法デ之ヲ
補填シテ居ルコトモ事實デアリマ
ス、而モ大藏大臣ハ御承知デア
ルカ分リマセヌガ、米一升ニ換算ス
ルト馬鈴薯ハ一貫八百匁ノ配給デ
アリマス、米一升ノ値段ハ二圓五
十錢デアツテ、馬鈴薯ガ配給サレ
タ場合ニハ四圓八十錢拂ハナケレ
バナラス、而モ配給サレタ馬鈴薯
ダケデハ食ヘナイ、生活ガ出來ナ
イ、寧ろ今日ノ配給ダケデ生活ス
ルト云フコトハ、私カラ言ヒマス
ナラバ生物學的ナ生存ヲ續ケテ居
ルト云フヤウナ狀態デハナイカト
私ハ思ツテ居ル、ソコデ國民ノ大
半ト云フモノハ遮ニ無ニ食糧ノ補
給ニ狂奔ヲ續ケテ居リマス、先般
御承知ノ通り秋田、北越方面ノ鐵
道列車ヲ調査致シマス、一列車
デ百俵モ米ガ出テ來タ、是ノ中ニ
ハソレハ「ブローカー」其ノ他ノ
爲ニ、利益ヲ目的トシテサウ云フ
補給ヲシテ居ル者モアリマセウ
ガ、大體ニ於テ食フニ食ハレズ、
巴ムニ巴マレズ、サウ云フコトヲ

續ケテ居ル人多イ、而モ此ノ頃
ハモウ米ナドハアリマセヌダ馬鈴
薯デアリマスガ、ソレモ配給サレ
タ馬鈴薯ダケデハトモヤツテ行
カレナイ、生物學的生存ヲ續ケル
ダケデス、ソコデ補給スルトスレ
バ馬鈴薯ハ公定ニスレバ一貫目四
圓八十錢デアリマスガ、今闇買
フトソレガ一貫目三十圓ハ安ク
モスルノデアリマス、此ノ一貫目
三十圓ノ馬鈴薯ヲ勤勞階級ノ家庭
デハ少クトモ十貫目ヤ十五貫目ノ
補給ヲシナケレバ生活ガ成リ立ツ
テ行カヌノデス、仕事ガ出來ナ
イ、勤勞意欲ガ出ナイ、サウ云フ
狀態ニアルト云フノガ一般ノ國民
層ノ生活ノ實態ナノデアリマス、
十五貫ノ馬鈴薯ヲ買フト致シマス
ナラバ四百五十圓、大藏當局ハ勤
勞階級ノ年平均所得ハ五千五百圓
ダ、而モ年五千五百圓トスレバ月
收ハ僅カニ四百五十圓程度デス、
其ノ數字ニ基キマシテ馬鈴薯十五
貫補給致シマシテモモウ既ニソレ
ハ四百五十圓ニナツテシマフノデ
ス、食フニ食ハレズ働クニ働ケナ
イト云フ土壇場ニ逐次迫込メラレ
ツ、アルノデハナイカトサヘ、私
ハ誇張デアリマセヌガ痛感ヲシ
テ居ルノデアリマス、其ノ場合ニ
於キマシテ、國家ノ財政ノ必要ト
ハ申シナガラ、一體稅金ト云フモ
ノハ分ニ應ジテデアリマスガ、其
ノ分ト云フモノハ私ハ生活力ダト
思フ、ソシテ殊ニ明日ノ再生産ニ

對スル所ノ勤勞意欲ヲ十分ニ再ビ盛リ上ラセル生活力ヲ勤勞階級ニ與ヘルト云フコトガ、國家再建ノ基盤デアリ、ソレガ總テハ國家財政ヲシテ鞏固ナラシムル所以デハナイカトサヘ私ハ考ヘテ居リマス、サウ云フ場合ニ、先ヅ勞働階級ガサウ云フコトハナイダラウト云フコトヲ考ヘテ樂觀サレルト云フコトハ、私ハ寧ろ當局ノ御心情ト云フモノニ對シテ、若干ノ疑問ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、寧ろ私ハ此ノ際當局ハ大悟一番此ノ勤勞階級ノ本當ノ生活ニ徹セラレマシテ、勤勞階級ヲ救フコトハ國家全體ヲ救フコトナンド、玆ニ私ハ大悟徹底シタ勇氣アル果斷ナリモ愛憎ニ滿チタ所ノ政治ヲ斷行スルト云フコトガ、當局ノ寧ろ國家再建ノ所謂政治ノ最高使命デハナイカト斯様ニサヘ私ハ確信ヲ申上ゲ得ルノデアリマス、併シ幾ラ私共ガ申上ゲマシテモ當局ハ財政ノ都合ダト言フダケデ、勤勞階級ニ對スル所ノ言葉ダケノ同情、實際ニハ何等ノ施策ヲ施サウトサレナイ、洵ニ私ハ殘念ダト思フノデアリマス、勤勞階級ノ生産意欲ガ阻碍サレ衰ヘルヤウナコトガアリマシタナラバ、如何ニ今政府當局ガ國家ノ再建ヲ圖ル爲ニ勇敢ニ闘ツテ行カウト云フ其ノ事柄モ、總テハ私ハ意味ヲ半減スルヂヤナイカ、私ハサウ云フ風ニ確信ヲ持ツテ居ルカラ只今ノヤウナ御

尋ネヲ申上ゲル次第デアリマス、此ノコトニ付キマシテハ水掛論ニ終リマスヤウデアリマスカラ打切りマス
ソコデ今度ハ池田サンデモ宜シイノデアリマスガ……
○苦米地委員長 ソレデハ大藏大臣ハ宜シウゴザイマスカ
○川島委員 宜シウゴザイマス、勤勞階級ノ立場カラ一言最後ニ御伺ヒ致シマス、大藏省デハ鹽ヲ扱ツテ居ル譯デアリマス、其ノ鹽ト云フモノハ一體我々ノ家庭デハ月ニ一人二百「グラム」掌ノ上ニ載セタ程度、而モ味噌醬油ガ足りナシカラ鹽ト云フモノハ二百「グラム」デハ到底漬物ニハ勿論廻ラナイ、其ノ日其ノ日ノ生活ダケデ手一パイデアアル、鹽ヲ今ノ二百「グラム」ト云フモノヲ更ニ近イ將來増配ラスルト云フ見込ガアルカドウカ、ソレト併セテ主食糧ノ足りナイ時ニ、我々ノ生活ト云フモノハ他ノ調味料、鹽ヲ原料トシタ所謂味噌醬油デアリマス、此ノ味噌醬油ノ如キモノ、洵ニ俗ノ言葉デ申シマスナラバ配給量ト云フモノハ二階カラ目藥デアリマス、醬油ノ如キハ月一二人濃厚醬油デ一合五勺デアリマス、味噌ハ僅ニ月一人二百四十勺デアリマス、五人家族デハ大體ニ於テ一ヶ月百圓程度ノ補給ヲシナケレバ調味料モ間ニ合ハヌト云フノガ國民ノ僞リノナイ實態ナンデデアリマス、ソコデ私ハ

勤勞階級ノ立場カラ申上ゲルノデアリマスガ、生活ニ缺クコトノ出來ナイ所謂米鹽ノ其ノ鹽、鹽ヲ原料ニシタ味噌醬油、斯ウ云ツタ問題ニ付テ今日ドシテ現狀ニアルカ、ソシテ將來ドヤウナ方法ニ依ツテ増配ラスルト云フ計畫ガアルカ、ソシテ今コトニ付テ御調査ガアリマシタラ御示シテ願ヒタイ
○池田(勇)政府委員 鹽ハ大藏省專賣局ノ所管デアリマシテ、私ハ詳細シイコトハ存ジテ居リマセヌ、今年ノ内地製鹽ハ計畫通りニハ行ツテ居ナイヤウデゴザイマス、氣候其ノ他ノ關係ガアルト思ヒマス、而レテ外國カラ取リマスト先ヅ長蘆鹽或ハ臺灣鹽ヲ相當期待致シマシテ輸入ニ努力シテ居ルヤウデゴザイマス、其ノ程度ノコトシカ私カラ申上ゲラレマセヌノデ、後刻專賣局長官カラ御答ヘスルコトニ致シマス
○川島委員 マダ私モ御質問シタイ重要ナ事柄ガ二、三殘ツテ居ルノデアリマスガ、同僚各位ノ御質問モマダ多分ニ多ツテ居ルコトデゴザイマスカラ、私ハ他ノ機會ニ大藏省關係ノ問題ニ付テハ質問致スコトガアラウト思ヒマスノデ、其ノ時ニ讓ツテ、私ノ質問ハ一應打切りタイト思ヒマス

御伺ヒ致シタイと思ヒマス、今回ノ増稅ハ戰時中増稅ニ増稅ヲ重ネ、其ノ上ノ劃期的ノ増稅デアリマシテ、此ノ増稅ガ生活ノ安定ニ重大影響ヲ來スト云フコトガ、以前カラ質問サレタ方カラ言ハレタノデアリマスガ、此ノ生活ノ安定ト云フコトニ付キマシテ最モ大ナル影響ヲ致スモノハ扶養家族ノ控除ト云フコトデアリマス、働キ者バカリノ家族デアレバ是ハ比較的樂デアリマスガ、扶養家族ガ多イ家庭ニ於キマシテハ非常ニ困ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ、今回官公職員、學校教職員ナドノ家族手當ガ増額サレタト云フコトハ、是ハ不十分ナガラ其ノ間ノ調整ガ取レルコトデ、自分ハ結構デアルト思ヒマスガ、同時ニ是等ノ方々ト同様或ハソレ以下ノ所得ノ人デ家族手當ナドヲ受ケナイ事業者、勤勞者ガアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラト思フノデアリマス、現在此ノ支給サレル家族手當ト云フモノハ、是ハ本人ノ地位トカ待遇トカ云フモノニ拘ハラズ、其ノ扶養家族ニ對スル生活ノ保障ト云フ意味カラ、是ガ經費ヲ國ガ負擔スルト云フ意味デ支給サレルノデアリマシテ、是等ノ人ニノミサウ云フ恩典ガアツテ、ソレ以外ノ事業者或ハ勤勞者ト云フモノニ付テ何等恩典ガナイト云フコトニ付テ玆ニ不均衡ガアル、斯ウ云フコトガ第一デアルノデア

リマス
ソレカラ第二番目ニ、家族手當ナドヲ受ケナイ是等中小農工商業者其ノ他ノ勤勞者、斯ウ云フ者ノ相互ノ間ニ於キマシテ之ヲ考ヘテ見タイト思フノデアリマス、例ヘバ之ヲ農家ニ例ヲ採リマス、農業所得モ一ツノ事業所得デアルケレドモ、殆ド是ハ勤勞所得ナンデス、其ノ實際ヲ見マスルト、子供ヤ年寄ノ多イ家ハ非常ニ困ツテ居ル、働キ手バカリノ家デアレバ是ハ左程困ツテハ居ラヌ、ソレニ對シテ現在ノ恩典ハ扶養家族ノ一人ニ對スル控除月六圓ト云フダケデアリマシテ、一年ニ付テ僅カニ七十二圓ト云フコトダケデアリマス、實情ハドウカト申シマス、扶養家族ノ多イ家ハ家族手當ヲ貰ツテモ却テ所得ガ減少スル、ナゼナラバ子供ヤ年寄ガ非常ニ澤山居ルト、家ノ仕事ガ出來ヌ爲ニ田畑ヲサウ澤山作レナイ、サウシテ作ツテモ十分世話ガ出來ヌカラ是ハ所得ガ減ルノデアリマス、家族手當ヲ貰ツテ殖エルノト反對ニ減ルンデス、サウシテ之ニ對スル所ノ扶養費ト云フモノハ中々澤山掛カル、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見ルト、玆ニ何等カノ負擔ニ於テ差異ヲ付ケテ均衡ヲ取ルト云フコトガ最モ必要デアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ是等ノ所得者ニ對シマシテハ、其ノ扶養家族ニ對スル扶養費ト云フモノヲ

現在ノ所得税ナドノ基礎控除以外ニ、基礎控除トシテ認メルト云フコトガ私ハ最も適切デアルト思フ、家族手當ノ支給ニ依ツテ國ガ扶養家族ニ對スル生活ノ或ル程度保障スルト云フ趣旨カラ見テモ外ノモノニ對シテモ其ノ扶養家族ニ對スル所ノ生活費ト云フモノヲ基礎控除トシテ、之ヲ一般控除以外ニ認メルト云フコトハ當然ノコトデアル、今日マデ是ガ認メラレテ居ラヌト云フコトハ、非常ニ負擔ノ均衡ヲ失スルモノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテ御考ヘテ伺ヒタイト思フノデアリマス

○池田(勇)政府委員 家族手當ノ支給ハ俸給給與ノ一部ヲナシテ居ルノデアリマス、決シテ物々給與デモナク、俸給ヲ支拂ヒマス時ノ一ツノ方法トシテ家族手當ヲ出シテ居ルノデゴザイマス、隨テ農工商業者ニ對シマシテハ給與ト云フモノガアリマセヌカラ、當然家族手當ヲ出スベキ筋合デハナイト思ヒマス、又第二ノ扶養家族ノ控除、是ハ所謂家族ノ生活費ノ一部ニモト云フ氣持デ扶養家族ノ控除ヲ附シテ居ルノデアリマス、決シテ是ハ基礎控除ト同ジデヤゴザイマセヌ、觀念ガ全然違ツテ居ルノデアリマシテ、只今ノ扶養家族ノ控除ノ制度デ、私ハ御話ノ通りニ行ツテ居ルト考ヘテ居リマス

○今井(耕)委員 サウスルト扶養家族ノ手當ナドガ出テ居ラヌ一般ノ事業者、勤勞者ト云フモノハ、扶養家族ノ多イ人ト少イ人トデハ非常ニ扶養經費ガ違フノデアリマス、最低ノ生活ハ費用ニ付キマシテモ是ハ餘程國トシテ考慮サレルノガ本當デアリマス、ソレガ現在デハ月七圓ダケシカ違ハヌ、之ニ付テ扶養家族ノ扶養費ト云フモノヲ、現在ノ基礎控除以外ニ基礎控除トシテ認メルト云フコトガ均衡上必要デハナイカ、或ハソレ以外ノ方法デモ結構デス、例ハバサウ云フモノニ限ツテハ家族控除ノ金額ヲ相當額ヤスコトモ一ツノ方法、何等カノ方法ニ於テ、此ノ不均衡ヲ是正シテ、實情ニ即應セシメルト云フコトハ最も必要ナコトダト思フ、私ノ申上ゲタコトガ面白クナイナラバ他ノ方法デモ宜シイ、兎ニ角負擔ノ均衡ヲ失スルコトガナイヤウニスルコトガ絕對必要ダト思ヒマス、之ニ付キマシテ御答辯ヲ伺ヒマス

○池田(勇)政府委員 御話ノ點ハ能ク分リマシタ、問題ハ扶養家族ノ控除年七十二圓、是ガ少ナ過ギルデハナイカ、斯ウ云フ問題ト考ヘラレマス、扶養家族ノ控除ニ付キマシテハ當初八年十二圓、ソレカラ昭和十七年二年二十四圓、ソレカラ去年三月二年七十二圓、斯ウ致シタノデゴザイマス、之ヲ所得ニ換算致シマス、勤勞所得デ言ハベ所得金額カラ三百六十圓控

除スル、斯ウ云フ恰好ニ相成ルノデゴザイマス、隨テ所得者側ニ對シマシテ、基礎控除二千四百圓トスルナラバ、其ノ家族ニ付テモ控除三百六十圓ダケデハ少イデハナイカ、斯ウ云フ御議論カト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ餘程研究致サナケレバナラヌト思ツテ居リマス、先達デモ試算ヲ致シマシタガ、イマ年七十二圓ヲ一人當リ控除シテ居リマスガ、之ヲ百圓ニ致シマス七億五千萬圓位所得稅ガ減收致シマス、餘程此ノ點モ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、御話ノ通りニ將來ノ所得稅ノ問題ト致シマシテハ、基礎控除額ヲ引上ゲルヨリモ、扶養控除額ヲ引上引上ゲル方ガ妥當デハナイカト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、併シ今回ノ稅制デハ今ノ事情ヲ見マシテヤハリ此ノ程度デ行カウト思ツテ居リマス、將來考フベキ點ハ基礎控除ヨリモ扶養家族ノ方ニ相當ノ重點ヲ置クベキデハナイカト云フ私見ヲ持ツテ居リマス

○今井(耕)委員 大體分リマシタガ、今ノ此ノ問題ハ一般ノ中小工業者ノ生活ノ安定ニハ非常ニ緊要ト問題デアリマスカラ、是ハ考慮シテ置カウト云フ程度デナシニ早速實行シテ貰ヒタイ、只今モウ非常ニ困ツテ居ル譯デアリマス、年モ二年モ研究シテカラヤツテ貰フ時分ニハ、モウサウ心配シテ貰ハヌデモ宜イヤウナ風ニ緩和サレルカモ知レマセヌ、コ、二、二年間ガ最も困ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲ早速御考慮ツテ實現願フ、斯ウ云フヤウナ御考ヘハアリマセヌカ、御伺ヒ致シマス

○池田(勇)政府委員 只今ノ所ハ考ヘテ居リマセヌ

○太田(鐵)委員 一寸關聯シテ一言、今主稅局長ノ御答辯ノ中ニ家族手當ハ俸給ヲ支拂フ時ニ拂フノデ俸給ノ一部ダト云フ御考ヘノヤウニ聽取ツタ譯デアリマスガ、サウスルト家族ガ多イ者ガ多ク俸給ヲ得ル、俸給ノ一部デアル、斯ウ考ヘテ宜シイノデスカ

○池田(勇)政府委員 私人課稅上サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ家族手當ニモ課稅ヲシテ居リマス

○苦米地委員長 一寸御待チ下サイ、川島君ノ御質問ニナツタ前ノコトデ專賣局長官が見エマシタカラ其ノ方ノ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○杉山政府委員 食鹽ノ供給ノ狀況ニ付キマシテ御質問ダサウデシタガ、席ニ居リマセヌノデ、或ハ御質問ノ趣旨ニ多少違フ點ガアルカト思ヒマスガ、供給條件ニ付テ申上ゲマス、大體本年度ノ供給計畫ト致シマシテハ食料鹽八十萬「トン」程度ヲ見込シテ居リマス、併シナガラ春以來ノ瀬戸内海方面ノ鹽田ノ生産ガ豫定ノ半分ニモ行ツテ居ナイ、是ハ天候ノ關係デア

リマスガ、幸ヒ七月カラハ相當持直シテ居リマス、併シナガラ全體ト致シマシテハ中々計畫通りニ行キサウモナイ、ソレカラ輸入ニ致シマシテモ「マツカーサー」司令部ノ方ノ配慮デ、色々計畫モ出來テ居リマスガ、現狀ニ於キマシテハ船ノ關係デ十分入ツテ來テ居リマセヌ、差當リ第二四半期ト致シマシテハ二十萬「トン」一寸切ルヤウナ配給計畫ヲ立テ、居リマス、第三四半期、第四四半期トナリマス、鹽ノ製造ノ方ハ減リマスガ、輸入ノ方ガ寧ろ相當希望ヲ持チ得ルヤウデアリマスカ、大體十七、八萬「トン」カ、二十萬「トン」一位マデノ供給ハ各四半期トモ出來ルノデヤナイカ、リウ致シマスと略ミ八十萬「トン」ト云フヤウナ全年度ノ供給モ何トカヤツテ行ケサウニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ味噌トカ醬油トカ云フ方面ニ使フ鹽モ、ヤハリ其ノ枠ノ中デ配給致シマスガ、是ハ大體現在ノ醬油ナリ味噌ノ配給基準、配給數量ヲ順次補ツテ行クケケノ鹽ハ、供給スルト云フ計畫ヲ以テ、此ノ第二四半期ノ計畫モ致シテ居リマス

○川島委員 今ノ御説明ニ依リマス、鹽ト云フモノハ現狀ヨリモ多ク配給サレル見込ハナイ譯デスガ

○杉山政府委員 現在ノ輸入ノ見透シデハ現狀ヨリモ多少ハ上廻ルコ

トガアルカドウカト云フ程度ニシ
カ考ヘテ居リマセヌ、勿論輸入ノ
方ノ數字ハ相當大キナ計畫ヲ持ツ
テ居リマセヌ、實際船中々思フ
ヤウニ入ツテ参リマセヌモノデス
カラ、一方自給製鹽ト云フヤウナ
コトデヤツテ居リマセヌ、是モ資
材等ノ關係ヲ計畫通リニ行ツテ居
リマセヌ、大體現狀ヨリ少シ良ク
ナル程度カト思ヒマヌ

○川島委員 味噌醬油毛鹽モ、
大體從來通り國民ニ對スル配給率
ト云フモノガ變リガナイ、殖エル
見込ハナク云フ譯デスネ、寧
ロ減ル心配ハアルノデスガ

○杉山政府委員 今ノ所減ル心配
ハ持つテ居リマセヌ、ウント増
加スルト云フ風ナ希望ハ一寸持チ
ニクイ狀態デゴザイマヌ

○川島委員 今ノ味噌醬油ノ全
體ノ數量ハ分ツテ居リマセヌカ
○杉山政府委員 數字ヲ記憶シテ
居リマセヌガ、後刻申上ガマセウ
○今井(耕)委員 只今ノ事業者ナ
リ、農業者ナリノ家族控除金額ノ
引上、是ハ早速是非實行シテ貰フ
必要ガアルト思ヒマスカラ、至急
御研究ヲ願ヒ御發表ヲ願ヒマヌ

○池田(勇)政府委員 家族手當ノ
引上ハ去ル三月二圓ノ六圓ニ引上
ゲマシタ關係モアリマヌ、而
モ是ハ立法事項デゴザイマヌノ
デ、只今ハ考ヘテ居リマセヌ

○今井(耕)委員 前年所得稅
ヲ受ケタ額ニ對シテ、本年所得稅
ガ課稅ニナルノダガ、昨年受ケタ
配當ハ使ツテシマツタカラ納稅ガ
出來ナイ、斯ウ云フ御話デゴザイ
マヌガ、是非非常ナ心得者デゴ

ザイマシテ、課稅ハ前年ノ實績、
前年ノ所得カラ翌年納メル、斯ウ
云フ建前ニナツテ居リマヌ、隨ヒ
マシテ假令稅制ノ豫算課稅ニ致シ
マシテモ、此ノ配當所得等ハヤハ
リ前年ノ實績ニ依リヨリ外ニゴザ
イマセヌ、昭和十五年以前ハ豫算
課稅、實績課稅ノ中間ヲ行ツテ居
リマシタガ、之ヲ豫算課稅ニ改メ
マシテモ、配當所得ハヤハリ前年
ノ所得カラ納メテ貰フヤウニ相成
ルト思ヒマヌ、最近ノ狀況デハ株
價ガ非常ニ下ツテ、財產稅ノ納メ
所得稅ノ納メルト云フコトニナル
ト困ル、斯ウ云フ御話デゴザイマ
ヌガ、昨年ノ所得ニ對シテ課稅
ニナリマヌ、昭和二十一年分即チ
今年分ノ綜合所得稅等ハ財產稅ノ
課稅價格カラ引キマヌ、又株價ノ
下ツタモノデ三月三日ニ下ツテ居
レバ、下ツタモノデ課稅ノ致シマ
ヌノデ、實際上非常ニ不合理ハナ
イト思ヒマヌ、財產稅ノ延納ニ付
キマシテハ特殊ノ場合ニ認メル積
リデ居リマヌ、原則ト致シマシテ
直チニ金納、物納ノシテ納メト云
フコトガ原則デアリマヌ、ソレカ
ラ財產稅以外ノ稅ニ付テ物納ヲ認
メルカ、是ハ相續稅ニ付テノミ物
納ノ制度ヲ入レテ居リマヌ、將來
一般ノ租稅ニ付キマシテ物納ノ制
度ヲ認メル考ヘハゴザイマセヌ、
次ニ農家ノ家畜、牛馬等ノ家畜ニ
財產稅ガ掛ルカドウカ、農家ノ家
畜ハヤハリ農家ノ財產デゴザイマ

スカラ、建前トシテハ課稅ノ對象
ニナリマヌ
○今井(耕)委員 今ノ農家ノ家畜
ニ對スル課稅ノ問題デアリマヌ、
是ハ農家ノ必要品デアリマシテ、
其ノ評價額ヲ下ノ位ニ御定メニナ
ルカガ問題ダト思ヒマヌ、今日時
價デ言フト、一頭ガ、萬圓バカリ
スル、馬小屋ニ繫イデ其ノ日暮シ
ノ百姓ヲシテ居ル者ニモソコニ財
產稅ガ掛ツテ來ル、ソレガ、且死
ンデシマフト大變ナコトニナル、
若シ財產稅ノ對象トセラレル場合
ニハ、是ハ極ク低イモノニシテ價
ハヌト、外ノモノト違ツテ非常ニ
支障ヲ來スノデアリマヌ、其ノ評
價ノ標準ガ下ノ位ニナツテ居ルカ
御尋ネ致シマヌ

○池田(勇)政府委員 農家ト致シ
マシテハ牛馬ハ必需品デゴザイマ
セウ、農家ノ必需品トハ認メマヌ
ガ、財產稅デ只今考ヘテ居ルノ
ハ、通常ノ生活ニ必要ナル各什器
等ガ課稅外デゴザイマシテ、營業
事業ニ假令ソレガ必要デアツテ
モ財產稅ノ價值ガアレバ當然課稅ノ
對象ニナルノデゴザイマヌ、農家
ニ於ケル牛馬ガ必要デアル如ク、
又商賣人ニ於ケル所謂家財道具或
ハ營業上ノ設備ガ必需品デアルガ
如ク、皆同ジデゴザイマヌ、皆理
論的ニハ課稅ノ對象ニナリマヌ、
牛一頭、萬圓、或ハ一萬五千圓ノ
取引ガアルコトハ我々モ聞イデ居
リマヌガ、之ヲ一萬圓或ハ一萬五

千圓デ課稅スルコトニハ相成ラヌ
ト思ヒマヌ、ヤハリ公定價格タル
實際ニ課稅シ得ル價格、斯ウ云フ
積リデ居リマヌ、財產稅ノ課稅標
準ハ決シテ聞ニ依ツテ課稅シヨウ
ト云フ氣持ハ持つテ居リマセヌ
○今井(耕)委員 是ハ相當喧シイ
問題ニナツテ居ルノデアリマヌ、
理論的ニハサウデアリマセウガ、
實情ハ相當異ナルモノガアルノデ
アリマヌ、農家等デハ今回ノ増稅
ハ相當無理ノ出ル點ガアルト思ヒ
マヌ、之ヲ法律ニ斷ズリ、規則ニ
斷ズリデドンノ、強化シテ行クト
非常ニ困ルヤウナ場合ガ實際出テ
來ル、斯ウ云フ點ニ付テ相當情狀
酌量シナケレバ本當ニ實際生活ニ
困ル點ガ出來テ來ル、此ノ點ニ付
テ當局カラ下ノ位ノ程度カ承リ
タイ

○池田(勇)政府委員 財產ノ評價
ガ財產稅ノ中心問題デアリマヌ、
隨テ其ノ評價トカ免稅點トカ、色
色重大問題ガ出テ來ルノデゴザイ
マヌ、只今財產稅ノ免稅點ハマダ
決マツテ居リマセヌ、唯今ノ牛ニ
對シテ課稅スルコトガ酷デハナイ
カト申シマヌルガ、ソレナラバ三
月三日マデニ牛ヲ賣ツテ之ヲ預金
ナリツテ居ル農家ニハ課稅セザル
ヲ得ナイ、預金ヲ引出シテ、萬五
千圓デ牛ヲ買ツタ人ハ課稅カラ逃
レル、牛ウ云フコトハ公平ナル觀
念カラ許セマセヌ、ダカラ課稅ノ
對象ニハナリマヌガ評價ニ付キマ

シテハ免稅點等ト睨ミ合セマシテ
實際ニ運用出來ル評價ニ致シタイ
ト考ヘテ居リマス

○苦米地委員長 是デ休憩致シマ
シテ午後一時再開致シマス
午前十一時五十九分休憩

午後一時十六分開議

○苦米地委員長 ソレデハ是カラ
開會致シマス、質疑ヲ續行致シマ
ス——増井慶太郎君

○増井委員 私ハ此ノ稅法ヲ改正
ニ付キマシテ、色々意見モアリマ
シタケレドモ、既ニ各委員ガ色々
ト御述ベニナリマシテ、御質疑ニ
對シソレト又當局カラノ御説明
ガアリマシテ、私ノ申上ゲントス
ル所モ重複スル點ガアリマスルカ
ラ、其ノ點ニ付キマシテハ止メマ
シテ、唯茲ニ非常ナル所ノ大キナ
稅ヲ課セラレテ、サウシテ今後我
ガ國民ガ此ノ税金ニ對シテ唯本年
一年バカリデナク、今後此ノ大キ
ナ税金ヲ數年間ニ亘ツテ徵稅サレ
ナケレバナラヌコトニナリマスル
ガ、果シテ現在ノ狀態デアツテ、
國民ガ此ノ徵稅ニ堪ヘ得ラレバ
否ヤト云フコトニ付キマシテ、私
ハ憂フル者デアリマス、今後ニ於
テノ御見透シハ大藏省ニ於テハド
シナ御考ヘカ、御伺ヒ致シマス

ノデゴザイマスルガ、是ハ明年
度、或ハ其ノ次ノ年度ニハナクナ
ル費用モ相當アリマスノデ、歳出
ハ相當程度減少スルモノト思フノ
デアリマス、而シテ又財界ノ整理
其ノ他ガ出來マシテ、我が國ノ經
濟ガ安定シ、産業ガ興ツテ參リマ
スナラバ、相當程度ノ租稅收入モ
確保シ得ルモノト考ヘテ居ルノデ
アリマス、只今ノ租稅負擔ハ我々
ト致シマシテモ相當重イト考ヘテ
居リマス、隨ヒマシテ歳出ノ減少
ニ伴ヒ、出來ルダケ早く、又出來
ルダケ多くノ減稅ヲ致シテ行キタ
イ、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマ
ス、今年ノ歳入ハ先般モ申上ゲマ
シタヤウニ、百六十三億ハ十分確
保出來ルト考ヘテ居リマス、明年
度ノ歳入ガドウナリマスカ、財界
ノ整理、安定ト睨ミ合ハセテ相當
程度ノ收入モ確保シ得ルモノト考
ヘテ居リマス

○増井委員 尙ホ一ツ勤勞所得ノ
コトニ付キマシテ、殆ド各委員カ
ラノ御意見デゴザイマシタガ、私
モコノ勤勞所得ニ付キマシテ御伺
ヒシタイト存ジマスガ、勤勞所得
稅ガ非常ニ重課サレテ參リマシテ
一般勤勞者ハ非常ニ御困リノコト
ト存ジマス、併シ是モ亦目下ノ情
勢トシテ已ムヲ得ナイト致シマシ
テモ、非常ニ是ガ不公平ニナリハ
シナカト思ヒマス、何トナレバ謂
ハバ唯一般ニ勤勞所得トシテ或ル
賦課率ヲ以テ課セラレマシテモ、
特ニ戰災地ノ者ト災害ヲ受ケナイ
所ノ人達トハ非常ニ差ガアル、今
日戰災ヲ受ケタ所ノ勤勞者ハ、一
般ニ家モナク着ル物モナク、其ノ
他家財、什器モ何モナイ、此ノ人
達ハ元ノ地位ニ還ルコトガ出來得
ナクトモ、先ヅ其ノ半バニ達スル
マデニハ相當ナル年月ガ掛カルコ
トデゴザイマス、デアリマスカラ
唯單ニ一般勤勞トシテ徵稅サレタ
場合ニ於キマシテハ、燒ケナイ人
トノ差ガ非常ニ出來マスコトデア
リマス、之ニ對シマシテ政府ハ昨
年度ハ此ノ人達ニ對シテ稅ヲ課セ
マセヌガ、本年度カラ斯ウ云フ風
ニ課カツテ參リマスコトハ、唯
般ト同ジデハ甚ダ不公平デアル、
之ニ對シテハ何等カ茲ニ免稅點ガ
アツテ、サウシテヤラナケレバナ
ラス、本年バカリデハナイ、將來
ニ亘ツテ何年ト云フモノハ戰災者
ニ對シテハ減免稅ヲシナケレバナ
ラス、之ニ對シテ政府ノ御考ヘテ
承リタイ

○池田(勇)政府委員 戰災者ニ對
シマスル租稅ノ輕減免除ニ付キマ
シテハ、昨年施行致シテ居ツタノ
デゴザイマス、此ノ戰災者ノ控除
ノ規定ハ、元々前年ノ所得ニ對シ
テ課稅致シマスル所謂賦課課稅ノ
所得、營業所得ニ輕減免除ノ規定
ヲ置ク趣旨デアツタノデアリマス
ガ、所謂事業所得者等ニ對シテ輕
減免除ノ規定ヲ置イタ場合ニハ、
勤勞者ニ付テモ尙ホ置イタ方ガ妥
當デハナイカト云フノデ、實ハ附
ケタリニ勤勞所得者ノ輕減免除ヲ
置イタノデアリマス、是ハ如何ニ
モ勤勞者ニキツク聞エルヤウデゴ
ザイマスガ、所得稅ハ新タナル所
得ニ對シマシテハ輕減免除シナイ
ノガ原則デゴザイマス、賦課課稅
ノ所得者ハ前年ノ所得ニ課稅ス
ル、其ノ間ニ罹災ヲ受ケタト云フ
コトニナリマス、前年ノ所得デ
拂フノニ困難ダ、斯ウ云フ趣旨カ
ラ輕減免稅ヲ致シテ居ツタノデア
リマス、今回ハ本則ニ還リマシ
テ、モウ既ニ一年ヤツタノデア
ルカラ本則ニ還ツテ新ジイ所得者ニ
對シテハ輕減免除ノ規定ハシナ
イ、斯ウ云フ原則ニ還ツテ輕減免
除ノ規定ヲ廢止致シマシタノデゴ
ザイマス、罹災者ガ非常ニ御困リ
ノコトハ我々モ十分存ジテ居リマ
ス、併シ稅ト云フモノハ負擔力ガ
アレバ課稅スル、所得ガアレバ課
稅スル、斯ウ云フノガ建前デアリ
マス、罹災者ニ對シテノ保護其ノ
他ニ付キマシテハ別途ニ講ズルノ
ガ本筋デハナイカ、斯ウ考ヘテ居
リマス

○増井委員 所得稅ハ所得ニ對シ
テ徵ルノガ正當ダ、是ハ御尤モデ
アリマス、併シ勤勞所得ハ御承知
ノ通りハツキリト分ツタモノデア
リマスカラ、例ヘバ一萬圓取レバ
一萬圓トハツキリ分ツテ居ルコト
デアリマスカラ、之ニ對シテ何等
駭引モアリマセヌ、若シ他ノ一般
所得デアリマシタナラバ、現在デ
モ多少ノ手心ト云フコトハ出來得
ルト思フ、是ハ昨年ノ戰災者デア
ル、斯ウシタ時ニ於キマシテハ多
少之ニ對スル手心ハ付クノデアリ
マスルカラシテ、ソコ等ガ融通性
ガアリマス、此ノ勤勞者ニ對シテ
ノミ稅ノ建前ダカラ斯ウダト言ツ
テ徵ルコトハ果シテドウカ、是ハ
大藏當局ニ於テモ建前ハリウデア
ル、其ノ建前ノ方法ヲ戰災者ニ對
シテノミ、特ニ數年間ト云フモノ
ハ斯ウ云フ風ニスルト云フコトニ
ナラヌカ、アナタ方ニシマシテ
モ、家ヲ燒カレ財物ヲ燒カレ何ニ
モナイト云フ人ガ假ニ二年ニ二萬圓
ナラ二萬圓ノ所得ガアツテモ、今
年ハ冬服ヲ買フ、或ハ子供ノ着物
ヲ買フト云フ人ト、何ニモ燒カヌ
人トハモラシ差ガアリマス、之ニ
對シテハ別ノ方法ガアリマセウケ
レドモ、直接分ル所ノ所得稅ニ付
キマシテハツキリト國ガ斯ウ云フ
風ナコトラスルト云フヤウナコト
ヲシタ方ガ、今勤勞所得者ガ税金
デ以テ云々ト云フヤウナ聲ノ多イ
時ニ、特ニ私ハ御考慮ヲシテ戴ク
方ガ宜イト考ヘマスケレドモ、是
等ニ付テ尙ホ御考慮ノ餘地ハナイ
カ、サウ云フ風ニ私共考ヘマス、
ドンナモノデスカ

○池田(勇)政府委員 罹災ノ程度
ガ事業所得者、勤勞所得者ニ差ハ
私ハナイト思ヒマス、御氣ノ毒ナ
點ハ勤勞所得者モ、又其ノ他ノ所

得者モ同様デアラウト考ヘルノデアリマス、又同ジ戰災者ト申シマシテモ、又其ノ間ニ非常ニ實情方違ツテ居ルノデアリマス、荷物ヲ全部疎開シテ身下宿住ヒラシテ居ツテモ戰災者ニナリマス、又何ニモ疎開セズニ酷ク家財道具ヲヤラレタノモ同ジヤウニ戰災者デアリマス、又戰災者デナクテモ自分ノ家財道具ヲ運搬スル時ニ失クシタ方ハ戰災者ノ中ニ入ツテ居リマセヌ、其ノ間ニ同ジ名前ノ下デアリマシテモ、實情ハ非常ニ違ツテ居ルノデアリマス、隨テ私ハサウ云フ難カシイ所ニ稅方入り込ムト云フコトハ少シ行過ギデハナイカト考ヘマシテ、戰災者ニ對スル所得稅ノ取扱ハ止メマシテ、他ノ方面カラ行ツテ戰災ノガ至當デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、勤勞所得者ハ所得ガ全部分ル、他ノ所得者ハ即チ營業トカ農業ハ所得ガスツカリ分ラナイ、捉ヘラレナイ、此ノ點勤勞所得者ハ非常ニ過重ノ負擔ニナルノデハナイカ、斯ウ云フ御話ノ點モアツタヤウデアリマスルガ、是ハ稅率ノ問題トハ別デゴザイマシテ、此ノ點ヲ補フ爲ニ、昔ハ六千圓以下ノ勤勞所得者ニハ二割、或ハ一萬二千圓以下ノ者ニ付テハ一割ト云フ控除デ其ノ點ヲ認メテ居リマシタガ、只今ハサウ云フコトヲシナクテモ基礎控除トカ或ハ稅率デ十分ニ勤勞所得者ノ優遇ハ圓

ツテ居ル考ヘデゴザイマス、只今ノ御話ノ戰災者ニ對シマスル稅法上ノ取扱ハ致サナイ考ヘデ進ンデ居ル次第デゴザイマス

○増井委員 併シ實際問題トスルト、勤勞所得者ノ所得ト云フモノハ假ニ或ル官吏ノ方ガアツタトシテ初メカラ出テ其ノ終リニ至ルマデ算盤デ以テ勘定スルト、一代ノ收入ガ先ツ茲ニ現ハレテ來ル譯デアリマス、此ノ收入ニ對シテ要スルニ順々ニ毎月課セラレテ、恐ラク相當ノ官吏トナツタ人モ、マア何カ惡イコトヲシナカウツラ食ガ建ツト云フコトハ一寸困難ダト思ヒマス、併シ從來見マスルト、他ノ所得者ハ若シ本當ニ全部ノ所得ノ稅ガ斯ウデアルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、殆ド税金ヲ徵ラレタラ大シテ殘ルコトハナカラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘマスケレドモ、政府ガ稅ヲボチノ取ツテ居ル爲ニ殘ツテ居ル財產ト云フモノハ殆ド税金ノ塊リガ殘ツタヤウナ形ニナツテ居ルヤウニモ考ヘラレマス、サウ云フ風ニ總テガ違ヒマスカラ、政府ハ勤勞所得者ニ對シテハ總テ能ク御考ヘ下サイマシテ、率其ノ他ニ付テモ御檢討願ツテヤツテ實ヒタイト存ジマス

○池田(勇)政府委員 勤勞所得ト事業所得ノ場合ニ、事業所得ハエテ十分ノ課稅ガサレテ居ナイ、所謂所得ノ課稅標準ノ計算ガ内輪デアリ勝チダト云フ御話デゴザイマス、私モ事實上其ノ點ハ或ル程度認メザルヲ得マセヌ、併シ我々ト致シマシテハ事業所得等ノ課稅標準ガ十分ニ行ツテ居ナイ、隨テ勤勞所得ノ方モソレニ應ジテ考ヘルト云フ御話デゴザイマスガ、我々トシマシテハ、十分行ツテ居ナイ事業所得ノ方ニ主力ヲ注イデ課稅標準ノ計算ノ全キヲ期シタイト思ツテ居ルノデゴザイマス

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○増井委員 併シ實際問題トスルト、勤勞所得者ノ所得ト云フモノハ假ニ或ル官吏ノ方ガアツタトシテ初メカラ出テ其ノ終リニ至ルマデ算盤デ以テ勘定スルト、一代ノ收入ガ先ツ茲ニ現ハレテ來ル譯デアリマス、此ノ收入ニ對シテ要スルニ順々ニ毎月課セラレテ、恐ラク相當ノ官吏トナツタ人モ、マア何カ惡イコトヲシナカウツラ食ガ建ツト云フコトハ一寸困難ダト思ヒマス、併シ從來見マスルト、他ノ所得者ハ若シ本當ニ全部ノ所得ノ稅ガ斯ウデアルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、殆ド税金ヲ徵ラレタラ大シテ殘ルコトハナカラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘマスケレドモ、政府ガ稅ヲボチノ取ツテ居ル爲ニ殘ツテ居ル財產ト云フモノハ殆ド税金ノ塊リガ殘ツタヤウナ形ニナツテ居ルヤウニモ考ヘラレマス、サウ云フ風ニ總テガ違ヒマスカラ、政府ハ勤勞所得者ニ對シテハ總テ能ク御考ヘ下サイマシテ、率其ノ他ニ付テモ御檢討願ツテヤツテ實ヒタイト存ジマス

○池田(勇)政府委員 勤勞所得ト事業所得ノ場合ニ、事業所得ハエテ十分ノ課稅ガサレテ居ナイ、所謂所得ノ課稅標準ノ計算ガ内輪デアリ勝チダト云フ御話デゴザイマス、私モ事實上其ノ點ハ或ル程度認メザルヲ得マセヌ、併シ我々ト致シマシテハ事業所得等ノ課稅標準ガ十分ニ行ツテ居ナイ、隨テ勤勞所得ノ方モソレニ應ジテ考ヘルト云フ御話デゴザイマスガ、我々トシマシテハ、十分行ツテ居ナイ事業所得ノ方ニ主力ヲ注イデ課稅標準ノ計算ノ全キヲ期シタイト思ツテ居ルノデゴザイマス

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○吉米地委員長 先程川島君ノ御質問ニ對シテ專賣局長官カラ數字上ノ御答辯アル等ニナツテ居リマス、只今參ッテ居リマスカラ答辯ヲシテ戴キマス——杉山政府委員

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○吉米地委員長 先程川島君ノ御質問ニ對シテ專賣局長官カラ數字上ノ御答辯アル等ニナツテ居リマス、只今參ッテ居リマスカラ答辯ヲシテ戴キマス——杉山政府委員

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

○杉山政府委員 先程申殘シマシタ數字ヲ申上ゲマスガ、本年度ニ於キマシテハ大體八十五萬ト

デスカラ之シ長ク續ケマスト諸味
ガナクナツテ遂ニ醬油ガ出来ナイ
ト云フコトニナルノデ、ソレヲ救
フ爲ニ第三四半期ニ於キマシテハ
今ノ數量ヲ増シマシテ、諸味ヲ釀
造スル方ノ鹽モ附加ヘテ出シタイ
ト云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマス
ノデ、結局上半期ノ三十萬「ト
ン」ヨリモ相當増加シテ今年度大
體ヲ通ジテ七十萬「トン」位ニハ
是非漕着ケタイト云フコトヲ努力
致シテ居リマス

○川島委員 今ノ説明ニ依ルト醬
油ノ配給ハ二合八勺ト云フコトデ
スガ、實際ハ二合五勺、是ハドウ
云フ譯デスカ

○杉山政府委員 實際ノ面ハ農林
省ノ方ノ關係ニナルノデス、數字
ハハツキリ致シマセヌガ、鹽ノ配
給ヲスル時ニ二合八勺ト云フコト
ヲ標準ニシテソレニ所要ノ鹽ハ幾
ラト云フコトデヤツテ居リマス
ソレカラ四月以來ハ味噌モ醬油
モ鹽ト配給「リ」ンク」致シマシ
テ、醬油ナリ味噌ナリノ製造業者
ハ自分ノ製品ヲ供出シナケレバ、
鹽ノ配給券ヲヤラナイト云フコト
デヤツテ居リマスカラ、今ノ御話
ノ一合五勺ト云フノハ實際ドウ云
フ風ニナツテ居ルカ分リマセヌ
ガ、醬油ナリ味噌ノ配給ヲ確保ス
ル爲ニ「リ」ンク」制ヲ執ツテ居ル
ノデゴザイマス、數字ノ關係ノ詳
細ハ一寸專賣局ダケデハ分リ兼ネ
ル點ガアリマス

○川島委員 一合五勺ト二合八勺
トデハ、既ニ一合三勺モエライ開
キガ出来テ居リマスガ、ソレハ農
林省ト連絡シテ調査シテ實ヒタ
イ、國民ニ實際配給サレテ居ルノ
ハ一合五勺、大藏省ノ方ノ鹽ノ割
當ハ二合八勺、是ハ大變ナ相違ニナ
リマス、其ノ差額ハ一體何處ニ行
ツテ居ルノデアリマスカ、其ノ點
洵ニ疑問ヲ持ツノデアリマスガ、
御調査願ヒタイ

○苦米地委員長 モウ宜シイデス
カ、ソレデハ増井君

○増井委員 此ノ徵稅ニ付キマシ
テ、尙ホ地方ノ稅務署ト云フモノ
ガ署長初メ係官ガ非常ニ頻繁ニ代
ルコトガ多イ、ソレガ爲ニ納稅者
ト密接ナ話合ガ出来ナクテ、過去
ニ於キマシテハ餘リ長ク居ルト云
フトソレニ對シテ色々ナ問題ガ起
ツテ來ルト云フ關係ガアツタ爲ニ
委員長退席、八木委員長代理
著席
頻々ト御代リニナツタコトト存ジ
マス、昨今ニ於キマシテハ、サウ
シタヤウナ稅務官ハ私ハ殆布ナイ
ノデヤナイカ、斯ウ信ジマス、デ
アリマスカラ今後少クトモ三年間
位ソコニ居ラヌト云フト、能ク分
ラヌ爲ニ、往々ニシテ其ノ徵稅方
法ガ間違、十萬圓課ケテ宜イ人
ノ所ニ五萬圓、五萬圓ノ人ニ十萬
圓課ケテ見タリスルト云フコトニ
ナリマシテ、色々非難モアリマス
カラ、ソレニ付キマシテ今後成ベ
ク其ノ土地ニ於キマシテ三年間

位、總テノコトガ分ルヤウニオイ
デ願ツタラドウカ斯ウ考ヘマス
ガ、其ノコトニ付キマシテ御方針
ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 御説ノ通り
デゴザイマシテ、非常ニ難カシイ
稅務行政ヲ致シマスニハ、其ノ土
地ニ出来ルダケ長ク居リ、土地ノ
事情ヲ十分知ルコトガ必要デアル
ト考ヘマス、最近ニ於キマシテ
ハ、他面子弟ノ教育トカ、或ハ交
通ノ關係ガゴザイマスノデ、出来
ルダケ轉勤ヲ見合ハスヤウニ致シ
テ居リマス、御尤モナ御考ヘデ、
大體三年程度位ハ居マス方針デ行
キ「イト」思ツテ居リマス、唯人事
關係ト云フモノハ一概ニ行キマセ
ヌノデ、特別ノ事情ノ場合ニハ是
ハ一、二年デモ送ラスト云フコト
ガ例外的ニハゴザイマスガ、原則
ト致シマシテハ御話ノ通りニ致シ
タイト考ヘテ居リマス

○増井委員 只今三年間位ト云フ
御話デシタガ、昨今ハ色々ナ關係
カラ特ニサウ云フヤウニナツタノ
デゴザイマセウガ、大體官廳ト云
フモノハ一所ニ於テドカヲ署長ニ
ナツタト云フ人ハナクテ、グル
グル方々ヲ廻ラナイト結局偉イ人
ニナレナイト云フコトニナツテ居
リマス、今後ハ一所ニ居ツテモト
カラ出デ署長ニナツテ差支ヘナイ
ノデスカラ、成ベクサウ云フ手段
デ以テ、良イ人ガアツタラソコニ
長クオイデヲ願フコトガオ互ヒ宜

吏トナツテ居ル人モ宜イシ又地方
ノ人モ宜イノデスカラ、成ベクサ
ウ云フ風ニ御考慮ヲ願ヒタイト思
ヒマス

次ニ私共國民トシテハ過去ニ於
テ日本ノ國力ノ發展ノ爲ニハ喜ン
デ納稅ヲシテ來タノデアリマス、
支那事變以來、大東亞戰爭ニナル
時マデ要スルニ政府ニ購サレテ喜
ンデ納稅ヲシテ來タノデアリマ
ス、當時ハ我々ハ勝タンガ爲ニト
云フ氣持デ其ノ方法ヲ執リ、尙ホ
金バカリデナク自分ノ子弟ノ命マ
デモ喜ンデ、萬歲ト共ニ國家ニ捧
ゲタ、斯ウ云フ氣持デアリマス、
既ニ敗戰ノ今日ニナリマシテ、其
ノ氣持ガ非常ニ變ツテ居リマシ
テ、尙且其ノ家モ焼カレ、總テガ
敗戰ノ今日ニナリマシテ狀態ガ變
ツタ爲ニ、非常ニ納稅ノ點ニ付キ
マシテモ考ヘ方ガ變ツテ居リマ
ス、之ニ付キマシテモドウシテモ
再建日本ノ爲ニハ多クノ稅ヲ收メ
ナケレバナラヌ、國ノ發展ノ爲ニ
出ス稅ナラバ、喜ンデ出シマスケ
レドモ、泥溝ヘ棄テルヤウナ稅金
ダツタラ出スコトハオ互ヒニ厭ナ
ノデス、大藏省當局ニ於キマシテ
ハ其ノ徵ツタ所ノ稅金ヲ昨今見マ
ス所ノヤハリ稅ノ「インフレ」
デ、何ダ五萬ヤ十萬、百萬ヤ二百
萬ドツチニヤツテモ宜イト云フヤ
ウナ氣持ガ自然アリハセヌカト我
我ハ考ヘマス、我々ガ血ト汗ト涙
ト共ニ出ス稅金デアリマスカラ、

此ノ稅ノ使途其ノ他ニ付キマシテ
ハ十分御考慮ニハ入レテアラウカ
モ知レマセヌケレドモ、天文數字
ノヤウナ今日何百億ト云フ稅金デ
アリマスカラ、往々ニシテ間違ッ
タコトガアルノデヤナイカ、斯ウ
云フヤウニモ一般ニ推測サレマ
ス、此ノ納稅ニ付キマシテハ稅務
署デハ稅ヲ徵ルト云フコトヨリ
モ、稅ヲ納メテ貰フト云フヤウナ
氣持ニ政府ガ指導スルコトガ一番
宜イノデヤナイカ、稅務署ハ稅ヲ
徵ルト云フコト、納メテ呉ルト云
フコトハ、ソコニ非常ニ氣持ガ違フ
ノデアリマスカラ、我々ハ稅ヲ喜
ンデ納メルト云フヤウナコトニ導
ク、是ハヤハリ學校教育カラ始マ
ツテサウ云フコトニナラナケレバ
ナラヌ、私ノ知ツテ居ル人デ一人
斯ウ云フ人ガアリマス、私モソレ
ヲ非常ニ參考トシテ各方面デ能ク
話ヲシテ居リマスガ、子供ノ時ニ
親ガ廢物語ニ、俺ノ所デハ去年ハ
三圓出來タガ、今年ハ四圓納稅ガ
出來タ、非常ニ有難イコトダト話
ヲシテ居ツタ、ソレヲ其ノ子供ガ
聞イテ、稅ガ歳々殖エルト云フコ
トハ自分ノ家ノ爲メダ、斯ウ云フ
風ニ考ヘタ、サウシテ親ノ代カラ
段々ト成功シテ、今日ニ至ルマデ
稅ヲ納メル時ニハ必ズ神棚ニ上ゲ
テ、今年ハ斯ウ云フ稅ニナリマシ
タト言ウテ、稅ノ殖エルト喜
ンデ今日マデ相當成功シテ來タト
云フコトヲ聞キマシテ、私モ能ク

其ノ話ヲ致シマス、私モ亦自分ノ税金ハ年々歳々殖エルコトガ宜イト考ヘマシテ今日マデヤツテ参リマシタガ、國民全體ニ付テモ自分ノ發展ト共ニ喜ンデ税金ヲ出スト云フ氣持ヲ植エ付ケルヤウナコトニ、何カ大藏省ニ於テ御考ヘガアリマスカドウカ、御伺ヒ致シマス

○池田(勇)政府委員 租税ハ國民ノ汗デアリ血デアル、之ヲ使ヒマスノニ厘毛モ疎カニシテハナラナイコトハ御説ノ通りデアリマス、我々ハ常ニサウ云フ氣持ヲ以テマシテ租稅徵收ノ任ニ當リマス同時ニ、歳出ニ付キマシテモ及ブ限リ斯ウ云フ趣旨ヲ體シマシテ無駄ノ金ガ出ナイヤウニ注意致シテ居ル次第デゴザイマス、國民ノ納稅觀念ニ付キマシテ、只今ハ洵ニ結構ナ實例ヲ聽カシテ戴キマシテ、身ニ泌ミタ次第デゴザイマス、御話ノ通りニ稅務官吏方得テシテ稅ヲ徵ル、斯ウ申シマスルガ、是ハ不用意ナ言葉デゴザイマシテ、稅ト云フモノハ實際國民カラ納メテ貰ヒ、又國民ハ進ンデ納メルベキ筋合ノモノデアルト思ヒマス、之ヲ單ナル義務ノ觀念デ説明スルコトハ全體ヲ盡シテ居ナイ、納稅モ一ツノ權利デアアル、斯ウ云フ觀念ガ十分國民ニ行渡ルヤウニ我々ハ今後トモ努メテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、租稅ハ所謂國民ノ租稅デアアル、ト云フコトヲ國民ガ本當ニ腹カラ御考ヘドサイ

スヤウニ我々稅務關係職員トシテハ今後一層力ヲ盡シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○増井委員 最後ニ遊興飲食稅ノコトニ付キマシテハ皆サン能ク御反對デスケレドモ、私モ亦サウデアリマス、今ノ飲食稅ノ如キハ大衆課稅ニナリ掛ツテ居リマスガ、是デハイカヌト思ヒマス、尙且ツ税金ノ徵收方法ガ極メテ複雑ト云フカ色々拙イ點ガアリマス、何カ外ニ之ヲ變ヘテ、外ノ稅デ以テ補填シテ、之ヲ御止メニナツタラドウカト私ハ考ヘマス、尙ホ現在外國人ノ經營シテ居ル飲食店ハ税金ヲ徵ラヌコトニナツテ居ルノデスカ、實ハ數日前ニサウ云フ風ナ所ヘ行キマシタガ、稅ヲ徵ツテ居リマセヌヤウニ見受ケマシタガ、是ハドンナ風ニ稅ヲ一或ハ其ノ中ヘ稅ガ入ツテ居ルノカ知りマセヌガ、ダウモ徵ツテ居ナイヤウデアリマシタ、是ハ胡麻化シテ居ルノカ、本當ナラバ或ル金額ニ對シテ税金幾ラ、ソレデ全體ガ幾ラト云フコトニナルベキダト思ヒマスガ、其ノ點一寸伺ヒマス

○池田(勇)政府委員 遊興飲食稅ノコトニ付キマシテハ相當議論ノアル所デアリマス、遊興飲食稅ハ大衆課稅ナリト云フ説ガアツタトスレバ、今日本デ行ツテ居ル課稅ハ相當大部分大衆課稅ニ相成ツテ居リマス、私ハ今ノ國情カラ申シテ大衆課稅ハ已ムフ得ナイ、又稅

ト云フモノハ一般國民所得大衆ガ分ニ應ジテ納ムベキガ民主主義的ナ稅デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、遊興飲食稅ハ大衆課稅ト申シマシテモ、遊興飲食ヲスル人ハマダソコニ相當稅力ガアルト私ハ考ヘテ居リマス、唯飲食稅ガ惡稅デアルト云フコトハ、徵收ニ非常ニ困難ガアル、斯ウ云フ意味カラ惡稅デアルト言ヒ得ルト思フノデアリマスガ、遊興飲食稅ノ課稅ガ絕對ニ惡イト云フコトハ只今ノ所考ヘテ居リマセヌ、外國人經營ノ飲食店ハ遊興飲食稅ヲ納メテ居ルカ、又ソレハ納稅義務ガアルカト云フ問題デアリマスルガ、外國人經營ノ飲食店ニ付キマシテモ勿論納稅義務ハゴザイマス、又先般聯合軍司令部ニ於キマシテモ、外國人經營ノ料理屋等ハ一般日本國民ト同様ノ納稅義務ニ服ス、斯ウ云フコトヲ明カニ言ツテ居リマス、隨テ今後ハ警察官署、又ハ進ンデハ聯合軍司令部ノ一エム・ビーヲ協力ヲ得マシテ、徹底的ニ外國人經營ノ飲食店ニ付キマシテモ稅稅ノナイヤウニ努メタイ、斯ウ云フ考ヘノ下ニ進ンデ居リマス

○増井委員 リウ致シマスト是カラ其ノ外國人ノ方ハ徵ル積リデゴザイマスガ、今マデハ宜カウタノデスカ、是カラト云フコトデスト何時カラリウナルノデゴザイマス

○池田(勇)政府委員 今マデモ當然我々國ノ租稅法規ニ服従スベキ筋合ノモノデゴザイマス、併シ如何セン稅務官廳其ノ他ノ實力ガ足リマセヌ爲ニ徵稅ガ事實上出來ナカウタ、法制的ニハ徵稅スベキ筋合ノモノデアツタノデゴザイマス

○八木委員長代理 次ハ片岡君アリマスガ、二、三點御尋ネ致シタイト思ヒマス、先ヅ、大藏省ハ大藏大臣ノ御話ニ依リマス、近ク審査會等ヲ制定シテ我々國ノ稅制ニ對シテ一大刷新ヲ圖ルト云フ御意圖ノヤウニ承リマシタガ、其ノ時期ハ何時デアリマセウカ

○池田(勇)政府委員 租稅制度ノ改正ニ付キマシテハ我々ハ稅務關係當局ハ常ニ研究ヲ致シテ居リマス、而シテ租稅制度ハ其ノ國ノ産業、經濟組織ガ大體目鼻ガ付カナケレバ完全ナ、立派ナ稅制ハ打立テラレマセヌ、隨ヒマシテ財界整理等、諸般ノ今回ノ施策ガ其ノ緒ニ就キマシテ、大體我々國産業經濟界ノ安定ガ見透サレル頃ニ審議會ヲ開クベキデアルト考ヘテ居リマス

○片岡委員 サウシマスト相當ノ時間ガ掛ルコトニナルト考ヘテ宜シウゴザイマスガ、其ノ結果、又提案サレテ居ル此ノ改訂稅法ト云フモノハ暫定的ノモノニナル、斯ウ考ヘテ宜シイモノデアリマス

○池田(勇)政府委員 先程モ申上ガマシタヤウニ、財界ノ整理又財產稅ノ徵收等ニ依リマシテ日本ノ經濟組織ハ可ナリ變ツテ來ルト考ヘテ居リマス、サウ云フ風ニナリマス、ヤハリ當然稅制モソレニ應ジテ改正シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、又地方稅制ニ於キマシテモ中央ノ稅制ト一體ヲ成スモノデゴザイマスカラ、中央稅制ヲ考ヘマス時當然地方稅制モ考慮ニ入レテ正ヲ加ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマス

○片岡委員 先頃來此ノ委員會ニ於テ相當質疑應答ガ繰返ヘサレテ居リマスガ、各委員カラ提案サレタ意見ニ對シテ政府當局ニ於キマシテハ、相當研究サレタ原案デアリマセウガ、ドウモ御賛成ガ得ラナイノデアリマス、私ハ先ヅ豫算ニ先立ツテ稅法ヲ制定シテ、サウシテ初メテ豫算ヲ作ルノガ順序デアルト思ヒマスガ、假定的ニ豫算ヲ編成シタ關係上、此ノ出タ所ノ數字ヲ改メマス、手續上ノ困難ヲ來ス、斯ウ云フ點カラ各委員ノ改訂案ガ容レラナイデハハカカラウカト愚考スルノデアリマス、若シサウ云フコトデアリマスレバ、此ノ委員會ナルモノハ、我々ガ此ノ暑イ中デ審議シテモ何ノ效果モ齎ラサナイデ、政府ノ御所見ヲ實スノミニ終ツテ、翼贊委員會

ニ終ル嫌ヒガアルデハナカラウカ
ト思ハレマスガ、ドウ云フ觀點デ
我々ノ意見ガ容レラレナイノデア
リマセウカ、先ヅ承ツテ置キタイ
ト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 皆様ノ御
意見ニ對シマシテ政府ノ考ヘテ居
ル所ヲ申上ルゲケノ問題デアリ
マシテ、政府ノ原案ヲ如何様ニ御
取扱ヒニナラウトモ皆様方ノ御自
由デゴザイマス、唯私ガ申上ル
コトハ、色々ナ方ニ色々ナ意見ガ
ゴザイマシテ、或ル方ハ其ノ一事
ニ付テノ議論ヲ進メテ參ラレマ
ス、我々ハ色々ナ税ヲ全體ノ見
マシテ、又此ノ税ガ經濟界ニ如何
ナル影響ヲ及ボスカ、又歳入歳出
ニドウ云フ風ニ關係ヲ持ツカ、色
色々ナ點ヲ全體ノ考ヘテ居ルモノ
デゴザイマスカラ、皆様ノ意見ト
十分一致シナイ點ガアルノデゴザ
イマス、是ハ政府當局ノ意見タケ
デゴザイマスカラ、此ノ政府ノ提
出法律案ニ付キマシテ如何様ニナ
サルルトモ、是ハ皆様方ノ御自由
ダト考ヘテ居リマス

○片岡委員 税制改定ノ目的ガ茲
ニ示サレテ居ル通り、税ノ國民負
擔ノ公正、地方税ノ簡素化ヲ圖
ル、斯ウ云フ御趣旨デアリマス以
上、此ノ原案ニ示サレタ以内ニ於
テ、徵稅法等ニ付キマシテ、其ノ
方法ヲ大幅ニ變ヘル所ノ意見ニ對
スル採用ノ御用意ガオアリニナリ
マセウカ、御伺ヒシマス

○池田(勇)政府委員 徵稅ノ簡素
化ヲ圖ル爲ニ、稅法ヲ大幅ニ變ヘ
ルニ付テノ意見アリヤ否ヤ、斯ウ
云フ御質問デゴザイマスルガ、ド
ウ云フ風ニ御變ヘニナル御意向カ
分リマセヌノデ、何トモ申上ルゲ
ネマス

○片岡委員 若シ政府ニソレヲ受
ケ入レル所ノ御意圖ガオアリニナ
ルナラバ、私ハ自分トシテノ意見
ヲ御述ベシタイト存ズルノデアリ
マス、此ノ間ノ大臣ノ御話デハ、
徵稅法等ニ對シテ諸外國ニ於テハ
最モ簡易ナル方法ガアルト聞イテ
居ル、サウ云フコトヲ伺ツタノデ
アリマス、尙ホ又一面ニ於テハ我
ガ國ノ稅制ハ決シテ世界ノ各國ニ
比較シテ劣ルモノデモナイト云フ
コトヲ聞イテ居リマス、劣ルモノ
デハアリマスマイガ、若シ現在ノ
我ガ國ノ徵稅法以上ニ、其ノ稅制
ノ上カラ徵稅法ガ他ニ優レタル方
法ガアルトスルナラバ、我々ハ進
ンデ此ノ際其ノ方法ニ依ラネバナ
ラヌ、斯ウ考ヘルノデアリマス、
一說ニハ、「ドイツ」等ニ於キマ
シテハ、全ク此ノ稅法ガ簡易化サ
レテ、例ヘバ物品ノ販賣ニ致シマ
シテモ、一ツノ標紙ヲ以テ總テノ
賣買ガ成立シ、其ノ集計ニ依ツテ
一年間ノ總賣上ノ累計ヲ以テ計算
シ、之ニ課稅ヲスルト云フコトヲ
聞イテ居リマス、略シモ其ノ標紙
ヲ、受取ヲ發行シナイ場合ニ於テ
ハ、買取者ハ買代金ヲ支拂ハナク

テモ宜イト云フヤウナ、強力ナ統
制力ヲ附加シテ居ルト云フコトヲ
聞イタコトガアルノデアリマス、
ソレ等ニ比較シテ我ガ國ノ仕方ヲ
見マス、全ク事業所得ノ方面ニ
於キマシハ、私モ商人デアリマス
ガ、相當ニ胡麻化シガ行ハレテ居
ルノデアリマス、之ニ關聯シマシ
テ當然稅務調査會ト云フヤウナモ
ノモ起ツテ來ル、税ノ公正ヲ期ス
ル爲ニ、凡ニ機關ガ必要ニナツ
テ居ルノデアリマス、若シモソレ

等ノ徵稅法ガ所謂英國或ハ「ドイ
ツ」等デナサレテ居ル所ノ最モ簡
單デアリ、公正ニ、且亦嚴肅ニ行
ハレルト云フ方法ガ見出サレルナ
ラバ、是等ノ不正行爲モ、又煩ハ
シイ所ノ凡ニ諸機關モ必要ガナ
クナルデハナカラウカ、斯ウ考ヘ
ルノデアリマス、毎年々々來ル所
ノアノ賣上稅ノ決定、是等ハ洵ニ
見ルニ忍ビナイ實情デアリマス、
其ノ結果色々ノ忌ハシイ所ノ行爲
モ相當ニ行ハレテ居ルコトハ事實
デアリマス、再建日本ノ「スター
ト」ニ當リマシテ、國ノ憲法マデ
モ改革シテ、サウシテ新シイ意味
ニ於テ月本ガ而モ民主的ニ、文化
的ニ再建スルニ當リマシテ、最モ
國ノ動脈ヲ成ス所ノ稅收ト云フモ
ノニ對スル一大改革ハ、私ハ憲法
ト並行シテ行ハレネバナラヌト、
斯ウ思フノデアリマス、是等ニ付
テ今當局ノ御説明ハ、經濟ノ安定
ノ見透シガ付イテカラオヤリニナ

ルト云フ御説明デアリマシタガ、
私ハ再建日本ヲ強力ク、而モ正シ
ク、民主主義的ニ作リ上ルゲルニ
ハ、憲法ト同様ニ、此ノ日本經濟
界ノ中樞ヲ成ス所ノ稅法ヲ何ヲ措
イテモ即時斷行シナケレバ、此ノ
再建ガ遅レルデハナカラウカト考
ヘルノデアリマスガ、政府ニ於テ
速カニ此ノ方法ヲ御採リニナル御
所見ガアリヤ否ヤ、重ネテ御伺ヒ
スル次第デアリマス

○池田(勇)政府委員 外國デハ非
常ニ徵稅ノ方法ガ簡單デアルト云
フ御話デゴザイマスガ、必ズシモ
サウデハゴザイマセヌ、ソレハ賣
上稅ヲ商品ニ「クレーボ」ヲ貼ツ
テヤツテ居ル「スペイン」ナンカ
モ、ゴザイマスガ、是ハ我ガ國デハ
中々實際ニ行ハレニクイノデアリ
マス、又「ドイツ」ノ多分賣上稅
ト思ヒマスガ、是ハ何モ印紙ヲ貼
ツテヤツテハ居リマセヌ、日本デ
賣上稅トモ申スベキ今ノ物品稅ハ
今度製造課稅ニ改メマシタカラ、
徵稅ハコチヲ方ガ簡單ニナルト
思フノデゴザイマス、此ノ徵稅方
法ハヤハリ國民ノ納稅思想ト非常
ニ關聯ナルモノデゴザイマシ
テ、如何ニ立派ナ制度ガ出來マシ
テモ、國民ガ之ヲ受入レナイ場合
ニハ何ニモナラナイノデゴザイマ
ス、能ク國民ノ納稅思想、又經濟
機構等ト配合セテ、徵稅ノ仕方モ
考ヘナケレバナラヌト思フノデア
リマス、一例ヲ引イテ申シマス

ト、「イギリス」ナンカデハ家賃
ヲ拂ヒマス時ニ、借家人ガ税金ヲ
差引イテ、サウシテ借家人ガ税金
ヲ銀行ニ納メルヤウニナツテ居リ
マス、併シ日本ナンカデハ斯ウ云
フ制度ハ中々行ハレマセヌ、隨テ
其ノ時、其ノ國情ニ依ツテ出來ル
ガケ簡素化ニ努ムベキデハゴザイ
マスガ、稅收ノ確保出來ナイヤウ
ナ簡素化モ是亦角ヲ矯メテ牛ヲ殺
スノ類デゴザイマスノデ、其ノ邊
中々一概ニハ行カヌノデゴザイマ
ス、又民主主義日本建設ノ爲ニ憲
法ヲ改正シタデハナイカ、租稅制
度モ是ト同様ニ直チニ改正ニ着手
スベシ、斯ウ云フ御意見デゴザイ
マスガ、租稅法規ハ憲法ノヤウニ
國ノ根本法トハ違ヒマス、殊ニ稅
ト云フモノハ所謂經濟機構ガ出來
上ツテ、ソレニツイテ行クモノデ
ゴザイマスノデ、租稅制度アツテ
ソレデ經濟機構ヲ引張ツテ行カ
ウ、斯ウ云フコトハ逆ノモノト私
ハ考ヘテ居ルノデアリマス、稅制
ハヤハリ經濟機構、國民ノ經濟生
活ノ狀況、是カラ割出シテ考フベ
キモノダト思ツテ居ルノデゴザイ
マス

○片岡委員 先刻來勤勞所得ノコ
トガ相當出盡シテ居リマスガ、此
ノ勤勞所得ハ先程モ御話ガアリマ
シタガ、扶養家族ノ控除額ヲ引上
ゲル御意思ハアリマセヌカ
○池田(勇)政府委員 勤勞所得ノ
扶養家族ノ控除ハ引上ルゲル考ヘハ

ゴザイマセヌ、是ハ本年三月緊急勅令ノ御制定ヲ仰ギマシテ、所謂新物價體系ニ應ジテ稅制ヲ考ヘタ場合ニ、基礎控除ヲ四倍ニ引上ゲ、扶養家族ノ控除ハ三倍ニ引上ゲタノデゴザイマス、其ノ際際勞所得ヤ外ノ所得ノ稅率モ引上グベキヤアツタノデゴザイマスガ、御承知ノ通り稅率ノ引上等ハ緊急勅令デヤルコトハ遠慮スベキガ、斯ウ云フノデ稅率ノ今回ノ引上ヲ頭ニ入レナガラ基礎控除並ニ扶養家族ノ控除ヲ引上ゲタノデゴザイマス、隨テ今回ハ扶養家族ノ控除ニ付キマシテ引上ゲル考ヘハ持ツテ居リマセヌ

○片岡委員 山林所得ニ對スル稅率ノ相當ノ引上ガ茲ニ盛ラレテ居リマスガ、御說明申上ゲルマデモナク、莫大ナル戰災都市ノ復興ニ當リマシテ、此ノ木材ノ需要ハ夥シイモノガアルノデアリマス、一面又森林ヲ造ルト云フコトハ並大抵ノコトデハ出來ナイノデアリマ

ス、剩ヘ今回戰爭ノ結果ト致シマシテ、森林所有者ハ悉ク濫伐サレテ居リマス、先祖代々長年慘酷シテ育テ上ゲタル所ノ子供ヨリモ可愛ク思ハレル位ノ、我が子ニ等シイ所ノ木材ヲ、御國ノ爲メトハ申シナガラ、全ク無統制ニ濫伐サレテ、其ノ被害ハ相當ナモノデアリマス、若シモ此ノ儘ニシテ置イタナラバ、先頃モ森林法案ガ上程サレタノデアリマスガ、此ノ森林ノ

育成ト云フコトニ非常ナル支障ノ來スデハナカラウカ、ソレノ及ボス影響ハ全ク豫想外ノ結果ガ現ハレテ來ルコトハ多言ヲ要シマセヌ、サウ云フ觀點カラシマシテ、森林ノ造營ト云フモノハ非常ニ長イ期間ヲ要スル、且ツ又非常ナル努力ヲ要スルノデアリマス、現在ノ森林所有者ハ、先程申上ゲタ通り、非常ナル慘苦ヲ嘗メテ居リマス、國ノ經濟ガ困難ニナツテ當然之ヲ徵稅ニ俟タネバナラヌノデアリマスガ、假ニ之ニ代ルベキ稅收ガアルナラバ、此ノ際山林所得ニ對スル稅率ト云フモノヲ出來ルダケ輕減サシテヤリタイト思フノデアリマスガ、御當局ノ御考ヘハ如何デアリマセウカ

○池田(勇)政府委員 山林ノ所得ニ付キマシテハ其ノ所得ノ性質ニ鑑ミマシテ、從來ハ所得ヲ五分致シマシテ、ソレニ一般ノ稅率ヲ適用シ、其ノ稅額ヲ五倍シテ算出スルコトニ致シテ居リマス、昭和十九年カラ之ヲ改メマシテ五分五乘シタト同ジヤウナ負擔ニ相成リマ

スヤウナ負擔ニ相成リマスヤウニ分類所得稅タケ、稅率ヲ盛ツテ居ルノデゴザイマス、今回モ他ノ所得ガ増徴セラレマスノデ、ソレト均衡ヲ取リナガラ或ル程度ノ増徴ヲ致シタノデゴザイマス、而モ又時局柄山林ノ伐採ハ必要デゴザイマスノデ増伐致シマシタ山林所得ニ付テハ特ニ輕減ノ規定ヲ置イテ

居ルノデゴザイマス、決シテ山林所得ハ他ノ所得ヨリモ今回多ク上ゲタ譯デモゴザイマセヌ、山林所得ハ其ノ性質カラ考ヘマシテモ負擔ガキツイトハ考ヘテ居リマセヌ

○片岡委員 次ハ鑛區稅ノコトデゴザイマス、御承知ノ通り戰爭目的ノ完遂ノ爲ニ、政府ハ舉ゲテ國內資源ヲ增強ニ強度ノ強要ヲシタ結果、國內ニアル所ノ有リト凡ユル鑛區ハ此ノ目的ノ爲ニ全力ヲ舉ゲテ目的ノ完遂ニ進ンダノデアリマス、一度終戰トナツタ今日トシテハソレ等ノ鑛區ハ或ル一部ノ石炭或ハ石油等ヲ除イテ他ノ部面ノ鑛區ハ、殆ド休止狀態ニナツテ居リマス、是ハ私ガ御說明申上ゲルマデモナク、全ク慘憺タル狀態ニ暴ラレテ居ルノデアリマス、搦テ、加ヘテ承リマス所ニ依ルト、軍需補償ノ打切りガ傳ヘラレルノデアリマス、殘ツタ所ノ此ノ殘骸ノ鑛區ニ對シテ、今回相當ノ増稅ガ行ハレテ千坪ニ對シテ六十錢ト云フモノガ二圓ニ増額サレテ居ルノデアリマス、是等ハ全ク私ハ無殘ナル仕打ト思フノデアリマス、幸ヒニシテ平和會議ガ結成サレ、我が國ノ産業ガ再び蘇生シテ來タ場合ハ是ハ又別デアリマスガ、現在ノ實情ニ於キマシテハ全ク殘骸ヲ暴シテ居ルノデアリマス、而モ鑛區ト云フモノハ非常ニ廣汎ナル面積ヲ所有シテ居リマス、サウ云フ觀

點カラ私ハ此ノ鑛區稅ノ引上ゲニ對シテ出來得ル限り御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、收入ガアレバ是ハ別デアリマスガ、全ク休止狀態、休止狀態ドコロデハアリマセヌ、殘骸ヲ暴シテ居ルノデアリマス、其ノ廣大ナル地域千坪ニ對シテ現行デハ六十錢、改正法案ハ之ヲ二圓ニ増額サレルノデアリマス、是等ハ打ツタリ蹴タリノ處置デハナカラウカト思ハレルノデアリマス之ニ對スル御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○池田(勇)政府委員 鑛區稅ヲ今回約三倍ニ増加致シマシタガ、實ハ鑛區稅ノ千坪三十錢或ハ六十錢ト云フノハ明治三十八年ニ決メタ稅率ナノデゴザイマス、其ノ後登錄稅、地租ハ相當上ガツタノデゴザイマスガ、事變中或ハ戰時中ト云フノデ、是ハ遠慮致シテ居ツタ次第デゴザイマス、明治三十八年ノ稅率ニ比ベマシテ、只今三倍ニナツタカラト云ツテ、鑛區稅ガ非常ニ他ノ稅ト比ベテ重イ稅トモ考ヘラレマセヌ、敗戰後租稅收入ノ増加ヲ圖リマスガ爲ニ、實ハ斯ウ云フ方面ニモ此ノ程度ノ増稅ヲシナケレバ相成ラヌ、サウ考ヘマシテ、三倍ノ増稅ヲ致シタ次第デゴザイマス

○片岡委員 次ハ入場稅デアリマス、私ガ毎日市內ヲ通ツテ登院スル際ニ目ニ付クノハ、朝マダキカラ映畫館等ニ列ヲナシテ入場ヲ待

ツテ居ル人々デアリマス、是等ヲ見ルニ付ケマシテモ、一方ニ於テハ減配、缺配ガ叫バレ、此ノ救助策ニ對シテ「アメリカ」ノ袖ヲ乞ツテ、今日ノ糊口ヲイデ居ルニモ拘ラズ、或ル一部ノ人士ハ、朝早々カラ開館ヲ待ツ爲ニ、道路上長蛇ノ列ヲナシテ居ル次第デアリマス、是等ヲ見ルニ付ケマシテモ、生産者諸君、勤勞者諸君ガ之ヲ見タ場合ニ、ドウ云フ考ヘガ起ルデアラウカ、私ハ毎日サウ思ヒナガラ登院シテ居リマス、朝張切ツテ自分ノ職業ニ對シテ精一バイ働カウト決心シタ勤勞者其ノ他ノ方々ガ、アノ情景ヲ見タ途端、ボンナ考ヘガ起ルデアリマセウ、一方ニ於テハ食ノ袖乞ヒヲシテ居ル、私ハ到底考ヘ切レナイノデアリマス、今回稅法ノ改正ニ依ツテ、此ノ入場稅ノ引上ガ提案サレテ居リマスガ、此ノ入場稅ニ對シマシテハ、ア、云フ觀覽入場稅ニ對シテ餘程ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト思ハレルノデアリマス、私ノ意見トシマシテハ、公然ノ休日、或ハ夜間等ノ入場稅ハ安クシテヤル、其ノ他ノ只今申上ゲタヤウナ洵ニ思ハシカラヌ所ノ時間或ハ時日ニ對スル入場稅等ニ對シテハ、大幅ノ引上ヲ課シテヤル必要ガアルト思フ、是ハ技術上相當ノ困難ガアルカモ知レマセヌガ、思想上其ノ位ノ處置ハ忍バネバナラヌト思ヒマスガ、御當局ノ意見ヲ御聽

キシタイノデアリマス

○池田(勇)政府委員 入場税ニ付

キマシテハ、三月ノ緊急勅令デ稅率ヲ輕減致シマスト共ニ、稅率適用區分ヲ改正致シマシテ、相當ノ輕減ヲ圖ツタノデアリマス、今回ノ稅制改正ニ付キマシテハ、入場稅ノ稅率ノ引上等ハ致シテ居リマセヌ、唯最近舞踏場ガ出來マシタノデ、其ノ舞踏場ノ入場者ニ對シテ、入場稅ヲ、課稅スル處置ヲ執ツタダケデゴザイマス、御話ノ朝カラ映畫ヲ見ニ行ク者ニ、特ニ入場稅ヲ高クスルヤウニシテハドウカ、是ハ中々徵稅技術上至難ト考ヘマス、前日非常ニ疲レ、サウシテ翌日午前中休ミノ方モ、中ニハオアリト思フノデゴザイマス、一サウ云フ映畫ヲ見ル人ノ事由ヲ聽ク譯ニ行キマセヌノデ、稅率ノ區分ハ難カシカラウト思ヒマス

○片岡委員 次ハ遊興飲食稅デゴザイマス、是ハモウ論議シ盡サレテ居ルヤウデアリマスガ、遊興飲食稅ハ先程モ御説明ガアリマシタガ、考ヘヤウニ依ツテハ大衆稅デモアリ、又是ハ奢侈稅デモアルノデアリマス、見解ノ相違デアリマシテ、ドウ云フ風ニモ見ルコトガ出來ルト思ヒマス、ソコデ大衆稅ニ課スル部面、言換ヘレバ價格ノ割合ニ低クテ、サウシテ大衆ニ必要ナル部面ト云フモノニ對シテハ、私ハ此ノ際政府ガ惡稅ダ惡稅ダト言ヒナガラ課セザルヲ得ヌ、

財政上ノ補填ノ爲ニ惡稅ト承知シツ、課セザルヲ得ヌ、斯ウ云フ御説明デアリマスカラ、是ハ諒トシマシテ、其ノ中デモ大衆的ノモノニ對シテハ、此ノ際勇敢ニ免稅シタ方ガ宜イト思ハレル、アベコベニ贅澤稅、奢侈稅ニ類スル部面ニ對シテハ、モット大幅ニ引上ゲテモ差支ヘナイト思フ、此ノ觀點ニ對スル御所見ヲ承リマス

○池田(勇)政府委員 飲食ノ方ノ

課稅ヲ輕減スルカ、或ハ全廢シテハドウカト云フ御意見ノヤウデゴザイマスガ、飲食ノ免稅點ハ先般一圓五十錢ヲ十圓ニ引上ゲタノデゴザイマス、私ハ所謂大衆課稅ノ中ニ十圓ノ免稅ガ入ルカ入ラナイカ、相當議論ノ余地ガアルト思フノデアリマス、飲食稅ノ課カル所デ飲食ナサル方ハ、私ハ相當輕稅力ガアルト認メマス、一般ノ大衆ガ飲食稅ヲドレダケ納メテ居ルカト云フコトヲ考ヘマス時ニ、私ハ御話ノ通り必ズシモ非常ニ惡イ大衆課稅トハ思ツテ居リマセヌ、又別ノ贅澤ノ方面ニハウント課稅シタラドウカト云フ御話デゴザイマヌガ、今デモ花代ニ對シマシテハ百分ノ百五十、世界ニ其ノ例ヲ見ナイ程ノ稅率デゴザイマス、先般百分ノ三百カラ百分ノ百五十ニ下ゲタノデゴザイマシテ、今又花代ノ稅率ヲ上ゲル考ヘハ持ツテ居リマセヌ

○片岡委員 次ハ印紙稅ノ問題デ

アリマス、原案ニ依リマシテハ戰時中暫ク廢止ニナツテ居ツタ所ノ此ノ印紙稅ガ、突如トシテ浮ビ上ツテ來タノデアリマス、御承知ノ通り此ノ印紙稅ト云フモノハ全ク厄介ナモノデアリマス、政府ノ方デハ印紙ヲ能率的ニ印刷シテ販賣スレバ、相當ノ額ガ徴レルゾデアリマス、此ノ豫算ニ依リマシテハ三億七千八百萬圓、斯ウ云フ稅收ガ茲ニ加算サレテ居リマスガ、其ノ經費ハ僅カナモノデス、所ガ之ヲ納メル方ハ非常ニ煩ハシイノデアリマス、是ハ私ガ御説明ヲ喋々ト申上ゲルマデモナク、尙又脫法モ行ハレテ居ルノデアリマス、サウ云フ觀點カラ此ノ徵稅或ハ稅制ニ對スル簡素化、此ノ改定案ノ骨子デアアル所ノ目的ニ對シテ、出來得ルナラバ三億七千八百萬圓位ノ目腐レ金ヲ、他ノ點デ取入レル方法ガナカラウカト思フノデアリマス、洵ニ是ハ面倒デアリマス、ソレガ非常ニ區分サレテ、受取ルニシマシテモ茲ニ示サレテ居リマシヤウニ、何圓以下ハ何錢ノ切手ヲ貼レヨ、洵ニヤ、コシイコトガ飛ビ出シタト私ハ慨歎シテ居ルノデアリマス、是ガ三百億トカ澤山ナ稅收ガアルナライザ知ラズ、此ノ總豫算カラ見マシテハ僅カ三億七千八百萬圓、政府ノ小遣ヒニモ足ラナイ金デス、之ニ對スル國民ノ負擔ト云フモノハ、莫大ナモノデアリマス、又之ヲ扱フ事務ノ煩雜

サハ、容易ナラヌモノガアルト思ヒマス、サウ云フ觀點カラシテ、私ハ此ノ稅法ハ何カノ方法ニ振替ガ出來ナイカ、斯ウ御願スル次第デアリマス

○池田(勇)政府委員 印紙稅ハ他

ノ稅收入ノ非常ニ少イ稅ト共ニ昨年八月、戰時緊急措置令ニ依リマシテ一時停止致シテ居リマシタ、今回即チ其ノ停止致シマシタ數種ノ稅ノ中デモ此ノ印紙稅ハ最モ收入ガ多イ稅デアリマスノデ、復活致シタ次第デアリマス、御話ノ印紙收入三億數千萬圓ハ、是ハ印紙稅バカリデナク、登録稅等モ入ツテ居リマス、印紙稅ハ其ノ中六千六百萬圓デアリマス、六千六百萬圓ト云フト、片岡サンハ、益ミ少イ金デヤナイカ、斯ウ仰シヤルカモ分リマセヌガ、六千六百萬圓モ尙且政府トシテハ疎カニ出來ナイ稅デアリマス、又是ハ稅ノ沿革カラ中シマシテモ、建前カラ中シマシテモ非常ニ良イ稅デアリマス、國民ガ非常ニ馴レテ居リマス、サウシテ又稅ト云フモノハ斯ウ云フ流通稅物ノ取引或ハ財産權ノ移轉、消滅ヲ證明スベキ書類ノ作成斯ウ云フ場合ニ取ルノガ非常ニ樂ナ稅知ラズ識ラズ入ツテ來ル稅デアリマス、印紙稅ハ收入ガ少クトモ、各國共昔カラヤツテ居ル稅デアリマス、サウ云フ稅ヲ何故昨年廢メタカト申シマス、非常ニ物資ガ不足致シマシテ、印紙ノ印刷ニモ事

足致シマシテ、印紙ノ印刷ニモ事

缺イタヤウナ狀況デアツタノデ、已ムヲ得ズ廢メタノデアリマス、私ハ此ノ印紙稅ハ將來益ミ擴充シテ行カナケレバナラヌ稅ダト思フノデアリマス、先般、御話ノ取引稅、斯ウ云フモノト稅ノ性質ガ同ジデアリマシテ、非常ニ有望ナ良イ稅ダト考ヘテ居リマス

○片岡委員 マダ訊キタイコトガ

澤山アリマスガ、内務省關係ニ入リマス、地方分與稅及ビ配付稅デアリマスガ、是ハ前質問者カラ質問ガアツタカト存ジマスガ、此ノ民主主義下ニ於テ、大臣ノ説明ニ依レバ、地方自治體ノ強化並ニ財源ノ強化ト云フコトガ叫バレテ居ルノデアリマスガ、洵ニ結構ト存ジマス、其ノ觀點カラシテ、今回茲ニ提出サレタ地方稅ナルモノハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、併シナガラ此ノ經濟界ノ變動ニ依リマシテ非常ニ偏重ガアリマス、富ノ偏在ガ非常ニ激シイノデゴザイマス、サウ云フ觀點カラ見マシテ、政府ハ交付金ニ對シマシテ人口比ヲ以テ按配サレルヤウニ示サレテ居リマスガ、果シテ是ダケデ所期ノ目的ガ達シ得ラレルヤ否ヤ、私ハ非常ニ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、通俗的ニハヤハリ人口比ニ依ル外ハナイト思ヒマスガ、若シ是レ以外ニ方法ガナイトスルナラバ、何カ之ヲ補填スベキ他ノ機關ヲ設置スル御用意ガアルカ否ヤヲ御伺ヒ致シマス

○郵政委員會 分與稅ノ配分ニ付

テノ御話デゴザイマシタガ、配付稅ヲ人口ニ依ツテ、按分スルト云フ點ヲ御指摘カト存ズルノデアリマスガ、財政事情ヲ標準ト致シマス配付稅ノ分與ニ當リマシテハ、大都市、都市、町村ニ依リマシテ、其ノ人口ノ標準ヲ大都市ニ於テハ總人口ノ三倍、都市ニ付テハ二倍、町村ニ付テハ一倍ト云フ工合ニ割増人口ヲ定メマシテ、財政事情ニ即應致サセルコトニシテ居リマス、更ニ終戰後ノ狀況ヲ勘案致シマシテ、府縣ニ於キマシテハ第三種配付稅、市町村ニ於キマシテハ、特別配付稅是等ノモノノ操作ニ當リマシテハ能フ限り各般ノ標準ヲ斟酌致シマシテ、例ヘバ災害應急ノ爲メノ負債ナンカドウデアラウ、公有地ノ面積ハドウデアラウ、官業ノ規模ガドウデアラウ、人口ノ増加ハドウデアラウ、人口ノ密度ハドウデアラウ、或ハ稅額ガ大キイカ少イカ、是等ノ各般ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、第三種配付稅ト特別配付稅ヲ按分致シマシテ、サウシテ可及的實情ニ即シタイト思ヒマス、申サバ一方ニ於テハ分與稅ハ或ル程度機械的ノ標準ニ依リマシテ、配分ヲ致シマスモノノ地位ニ依リ配分シテ參ルト云フ理想ヲ保チツ、現在ノ段階ニ於キマシテハ斟酌配分ヲ相當加味致シマシテ、實情ニ副ハセタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○片岡委員 御趣旨ハ能ク分リマシタ、且又ソレデモ戰後ノ全國ノ各市町村ト云フモノハ相當ニ特異性モアルシ、又他ノ一面カラ見マシテモ格差ガ相當付イテ居ルト存ジマス、ソレ等ニ對スル實際ニ即シタ所ノ調査機關ノ用意アリヤ、之ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○郵政委員會 全般的ニ地方制度竝ニ地方財政ニ關シマシテ、地方制度調査會ヲ、議會ガ終了致シマシタ後ニハ即刻設ケタイ考ヘテ持ツテ居ル譯デス、其ノ地方制度調査會ニ於キマシテノ一ツノ題目ト致シマシテ、民主主義政治ノ行ハレマス現在ニ、最モ適當ナ方法ヲ、何ト申シマスルカ、官ニ於キマシテ凡ユル材料ヲ集メテ致シマシテモ尙且ツ足りナイ所ノ部分ヲ補ヒマスル爲ニ、各方面ノ意見ヲ十分斟酌致シマシテ、サウシテ實情ヲ調査シテ適當ナル判斷ヲ致シマスルヤウナ機關ト云フカ、或ハ制度ノ方面ニ於キマシテ、或ハ稅ノ方面ニ於キマシテ設ケルコトヲ考ヘテ見タイ、斯ウ云フ段取りニハナツテ居リマス、如何ナル機構ヲ此ノ際直チニ設ケルカニ付テハ、只今ノ所マダ纏マツタ考ヘハゴザイマセヌ

○片岡委員 私人質問ハ是デ打ちリマス

○八木委員長代理 次ハ松永君

○松永(義)委員 大藏省ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、國債ト稅ト

ノ關係ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス、本年度ノ改定豫算ニ依リマスト、收入ハ稅其ノ他ニ依ツテ居ラレテ、執行豫算ヲ別ニシマシテ、改定豫算ニ於キマシテハ公債ニ依ル收入ニ依ツテ居ラレナイヤウデアリマスガ、來年度ニ於キマシテモ果シテ此ノヤウナ方針デ行カレル積リデゴザイマセウカ

○池田(勇)政府委員 今年ハ只今ノ所一般經常收入ヨリモ歳出ガ非常ニ多イノデアリマスガ、偶ニ財產稅ノ收入ガ本年度相當豫定セラレマスルノデ、國債ヲ發行セズニ賄ヒガ付クト考ヘラレルノデゴザイマス、併シ來年度ニ於テドウナルカト云フコトニナリマスト、來年度ノ歳出ハハツキリ致シマセヌ、ナゼカト申シマスト今年ハ進駐軍費ノ二百數億圓、復員費ノ數十億圓、斯ウ云フ殆ド一年限リト思フヤウナ經費ガ相當ゴザイマスノデ、來年度下ノ程度ノ赤字公債ヲ發行シナケレバナラナイカト云フコトモ只今申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス

○松永(義)委員 只今ノ主稅局長

ノ御答辯ニ依リマスト、本年度ノ支出ハ財產稅ノ一時限リノ收入ニ依ツテ賄フ程度ニ於テ支出セラルテ今年ハ間ニ合フケレドモ、來年ノコトハハツキリ分ラヌト云フヤウナ御答辯ノヤウニ聽キ取ツタノデアリマス、併シ來年ニナリマスト恐ラクハ產業ノ再開トカ、色々

ノ必要ナル經費ガ生レテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、本年度ノ一時限リノ收入ヲ除イテ、經常ノ收入ニ依ツテ來年ガ果シテ賄ツテ行カレ得ルカドウカ、又ソレダケデ日本ノ建直シト云フモノガ出來ルカト云フ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 本年度ハ臨時ニ財產稅ガ入りマスノデ、赤字ヲ出スコトハナイダラウト想像シ得ル程度デゴザイマス、追加豫算ガドレダケ出マスカ、又如何ナル事情ニ依リマシテ臨時議會ガ開カレテ歳出ノ御協賛ヲ仰ガナケレバナラヌト云フ事態ガ發生スルカモ分リマセヌ、隨ヒマシテ本年度ニ於テ財產稅ノ收入デ如何ナル事態ガ發生シテモ賄ヒ得ルカト云フ點ニ對シテ、私ハ賄ヒ得ルトハ申上ゲラレスノデゴザイマス、來年度ニ於キマシテ、御話ノ通りニ產業ノ再開其ノ他國費モ相當出ナケレバナラヌ、又出ルコトヲ覺悟シナケレバナラヌト思ツテ居リマス、進駐軍費ノ二百數億圓ハ名目ハ本年度限りデゴザイマスガ、他ノ名目デ占領軍關係ノ費用ヲ負擔シナケレバナラヌカモ分リマセヌノデ、サウ云フコトヲ考ヘマスト來年度ハ赤字公債ヲ出サズニ賄フト云フコトハ中々難カシイノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○松永(義)委員 只今主稅局長ノ

御答辯ニ依リマスト、本年度モ事

ニ依ルト赤字ニナルカモ知レナイ、來年度ハ恐ラク赤字ニナルダラウト云フコトヲ豫想サレルヤウナ御答辯デアリマシタガ、然ラバ本年サウデナクテモ非常ニ物價ガ騰貴シテ、公債ノ重壓ノ爲ニ非常ニ困難ナル際ニ、更ニソレニ加ヘテ公債ヲ發行サレテ、政府資金ヲ放出サレルヤウナコトニナリマスレバ、益ニ惡性「インフレ」ヲ増勢スルヤウナコトニナリハシナイカト云フコトガ心配サレマスガ、政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○池田(勇)政府委員 本年度ニ於テ赤字公債ヲ出スカモ分ラナイ、又來年度ハ出スヤウニナルダラウ、斯ウ云フコトハ私見デゴザイマシテ、只今丁度アナタガ其ノ點ヲハツキリナサラナイト同様ニ、私モハツキリ致シテ居ナイノデゴザイマス多分財產稅賄ヒ得ルトハ思ヒマスガ、斯ウ云フ狀態デゴザイマスルカラ、如何ナル事態ガ發生スルカ逆睹シ得ラレヌカラ、財產稅デ今年度ハ十分賄ヒ得ルトハ申上ゲ兼ネルト云フ意味ニ於テ申上ゲタノデゴザイマス、而シテ又今ノ物價情勢デアルト相當物價ガ騰貴スル、然ラバ色々ナ政府ノ歳出モ殖エテ來ルダラウ、隨テ國債ヲ相當出サザルヲ得ナイ、斯ウ云フ御說デゴザイマスルガ、今以上ニ物價騰貴ガアリ、「インフレ」ノ狀態ニナツテ來ルト云フ前提ナラバ御話ノ通りト思ヒマス、

我々ハ併シ物價モ此ノ邊デ止マリ、又「インフレ」モ支ヘ得ルト云フコトヲ前提ニシテ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○松永(義)委員

其ノ點ノ實ハ其ノ程度ニ致シテ置キマシテ、次ニ勤勞所得稅ノコトニ付キマシテ、或ハ他ノ人ガ同様ノコトヲ質問サレテ政府ノ御答辯ガアツタカト思フノデアリマス、重復シテ御質問致スコトニナルカモ知レマセヌデ恐縮デスガ、重ネテ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト存ズルノデアリマス、勤勞所得稅ハ源泉課稅ニ於テ現金ヲ以テ支拂ヒ、其ノ他ノ所得稅ニ付キマシテハ封鎖拂デモ宜イ、斯ウ云フヤウナ御話デアツタヤウデアリマスガ、分類所得稅ノ中、如何ナル種類ノ所得稅ガ封鎖拂デヤツテ行カレルノカ、其ノ種類ニ付テ御伺ヒシタイ

○池田(勇)政府委員

舊圓ト申シマスカ、封鎖支拂ノ出來マス稅ハ原則トシテ直接稅デゴザイマシテ、綜合所得稅、事業所得稅、不動産所得稅、斯ウ云フ前年ノ實績ニ依ツテ課稅致シマス本年分ノ所得ニ限リタイト思ツテ居リマス、又相續稅ニ付キマシテハ只今研究中デゴザイマスルガ、過去ニ課稅關係ノ發生致シタモノデゴザイマスルカラ、是モ封鎖支拂ヲ認メザルヲ得ナイノデハナイカト考ヘテ居リマス、間接稅等ニ付キマシテハ原則トシテ新圓ニ依ツテ居リ

マス

○松永(義)委員

ソコデ御尋ネ致シタイノデスガ、事實上ニ於テ事業所得ハ封鎖拂ニ依ルコトガ出來ル、然ルニ勤勞所得ノ方ハ新圓拂ヲサセラレ、其ノ結果此ノ所得稅ヲ納メル兩者ノ間ニ生活ノ上ニ大キナ差ガ生ジテ來ルコトハナイカト思フノデアリマス、一方ハ新圓拂ニ依ツテ多少ナリトモソコニ性惡「インフレ」ノ防止ノ用其トナルノデアリマスガ、他方ニ事業所得ノ場合ニ於テハ既ニ睡眠シテ居ル封鎖預金ヲ再ビ喚ビ覺マシテ、サウシテ政府ノ資金トナツテ流通過程ニ入リマスレバ、折角勤勞所得稅ニ依ツテ惡性「インフレ」ノ防止ト云フコトニナツタモノヲ、事業所得ノ税金ニ依ツテ助長サレルヤウナ結果ニ陥リハシナイカ、同じ所得稅デアツテモ、勤勞所得ノ方ハ現在ノ段階ニ於テハ國家ニ非常ナ利益ヲ致スコトニナツテ居リマスケレドモ、事業所得ノ方ニ於キマシテハ、眠ツテ居ル封鎖拂ヒヲ呼ビ覺マシテ、再ビ其ノ金ヲ政府資金ヲ通ジテ流通過程ニ入ルト云フコトハ、逆ニ「インフレ」ヲ促進スルヤウナコトニナリハシナイカ、政府ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○池田(勇)政府委員

是ハ實績課稅ト豫算課稅ト言ツテハ言葉ガ惡ウゴザイマスガ、事業所得其ノ他綜合所得稅ハ、前年ノ實績ニ對シテ課稅スル建前ヲ取ツテ居リ

マス關係上、致シ方ナイト思ヒマス、サウシテ源泉課稅ト致シマスノハ勤勞所得稅ニ限ラズ、配當所得稅モ源泉課稅ヲ致シテ居ルノデ、ヤハリ新圓カラ徵收スルコトニ相成ツテ居リマス、是ハ今ノ稅制ガサウ云フ風ナ建前ニナツテ居ルカラ、或ル程度ノ新圓舊圓ノ不公平ハアルト思ヒマスルガ、實際問題ト致シマシテ相當ノ納稅者ガ昨年ノ所得ヲ納稅資金トシテ積立テタ、ソレガ封鎖ニ相成ツタノデゴザイマスカラ、其ノ封鎖支拂ヲ認メナイト云フコトニナリマス

○松永(義)委員

只今政府ノ答辯ヲ伺ツテ居リマス、一應形式的ニ成立ツヤウニハ思ハレマスガ、實質上ニ於テ現在何ガ故ニ稅ヲ徵收シ、又何ガ故ニ本年度ノ豫算ニ於テ、稅收入ヲ以テダケ賄ツテ行カウカト云フ其ノ精神ト云フモノガ死シデシマフノデハナイカ、即チ出來ルダケ總テノ税金ト云フモノハ新圓デ以テ徵收シテ行クノガ最も適當デハナイカ、殊ニ現在五百億圓ノ通貨ガ發行サレ、新圓ト舊圓トノ切換ノ其ノ六百億圓ニモ、今ヤ近付カント致シツ、アル際デアリマス、物價騰貴ガ惧

レラレ、國民生活ノ安定ガ非常ニ脅威ヲ感ジテ居ル際ニ、今日納稅ト云フ本來ノ目的ニ向ツテ、惡性インフレ防止ノ方ニ重點ヲ求メテ行カレルト云フヤウナ御考ヘハナイデアリマセウカ

○池田(勇)政府委員

納稅ハ此ノ際新圓ガ最も望マシノデゴザイマス、隨ヒマシテ租稅收入ノ中デモ、大半ハ新圓デ徵收スルコトニ相成ツテ居リマス、唯制度ト致シマシテ綜合所得稅或ハ事業所得稅ニ付キマシテハ、是ハ總額デ四十億圓程度デゴザイマスルガ、建前トシマシテハ前年ノ實績ニ對シテ課稅スルノデ、所謂封鎖預金デモ認メザルヲ得ナイコトニナツテ居リマス、納稅者ガ進ンデ新圓デ納稅シテ下サレバ、是ハ非常ニ有難イコトデゴザイマス、政府ハ新圓ヲ取ツテサウシテ「インフレ」防止ニ充テル、所謂通貨ノ縮少ニ充テル、斯ウ云フコトモ考ヘマスルガ、政府ノ歳出ヲ賄フト云フコトモ、租稅ヲ徵收致シマスル重大ナ理由デゴザイマス、其ノ一部分ガ特別ノ事情、即チ課稅ノ建前カラ言ツテ或ル程度封鎖預金カラ支拂ハレマシテモ、過渡的ノコトトシテ已ムヲ得ザルモノト考ヘテ居リマス

○松永(義)委員

尙ホ一點勤勞所得ト事業所得ニ付キマシテ實シタイノデアリマスガ、勤勞所得ノ場合ニ於キマシテ、例ヘバ今日盛ン

ニ陳情シテ參リマス學校ノ先生ノ給料ヲ捉ヘテ見レバ直チニ分ルコトデアリマスガ、學校ノ先生ノ給料ヲ假ニ其ノ他ノ收入ヲ加ヘテ一萬圓ト假定シ、五人ノ扶養家族ガ存在スルト假定致シマシテ、其ノ先生ノ收入ガドウ云フ風ニナツテ行クカト云フコトニ付キマシテ、大藏省ガ數字ノ上デ既ニ御存ジノコトヲ此處デ喋々スルノハ止メタイト思ヒマスケレドモ、唯其ノ數字カラ見マス時ニハ、勤勞所得稅及ビ綜合所得稅ヲ加ヘテ、更ニ又府縣民稅或ハ市町民稅等相次イデ起ル所ノ稅拂ヒヲ考ヘマス、其ノ先生ノ收入ト云フモノハ恐ラク一家五人ノ家族ヲ抱ヘテ生活ヲシテ行クノニハ、非常ニ骨ガ折レルノデハナイカ、其ノ收入額ト云フモノデハ非常ニ骨ガ折レルモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ第一ニ御尋ネ致シタイコトハ、勤勞所得ノ方ニ於キマシテハサウシタ僅カナ收入デアリナガラ、税金ハ新圓ヲ以テ支拂フコトニナツテ居ル、然ルニ事業所得ノ方ニ於キマシテハ屢ニ此處デ御質問ガアリマシタヤウニ、同じ稅ヲ納メルモノデモ給料取りノ方ハモウ駈引キナク其ノ儘取ラレシマフ、所ガ事業所得ヲ拂フモノ、例ヘバ營業者トカ或ハ色々ナ事業ヲ行フモノニハ相當ノ融通ガ付ケラレテ居ル、然ルニソレ等ノ人ハ封鎖拂ヒト云フコトニナリマス

〔八木委員長代理退席、委員
長着席〕

概ニ封鎖預金ノ支拂ヲ認メテ居リ
マセヌ、其ノ點ガ事業所得者ハ金
融上ニ於キマシテ相當ノ負擔ヲシ
テ居ル譯デゴザイマス、今假ニ御
話ノ如ク、殊ニ事業所得者ニモ新
圓デ納税サセヨウ、又綜合所得納
税者ニモ新圓デ納税サセヨウト申
シマシテモ、是ハ例ヘバ十萬ノ配

○松永(義)委員 更ニ私ノ心配致シマスルコトハ勤勞所得稅ヲ納ムル人達ニ付テデアリマスガ、既ニ源泉課稅ヲ差引イテ其ノ後ニ殘ツタ收入ダケデ生活ヲヤツテ行キタクテモ相當骨ガ折レル、其ノ上ニ更ニ綜合所得ヲ取ラレルト云フヤウナコトニナリマス時ニハ、或ハドンナコトガアツテカ其ノ俸給生活者ト云フモノハ恐ラク税金ヲ拂ヒタクテモ拂ヘナイヤウナコトニナル處ガアルノデハナイカ、出來ルダケ今日ノ物價高ニ對シテモ國民ハ宜シク辛抱シテ窮乏生活ニ耐ヘテ行カナケレバナラスト云フ風ニ或ハ仰セレルカモ知レマセヌガ、既ニ今日五百圓生活ト云フモノガ、事實上ドンナニ理窟ヲ仰シヤツテモ困難ナ時節ニナツテ居ル

ノ確立ノ時ニ之ヲ一萬圓ニ引上げ
タノデゴザイマス、アノ頃デモ綜
合所得稅一萬圓ニ付キマシテハ相
當考慮ノ餘地ガアツタノデゴザイ
マス、併シ今年適用ヲ受ケマス者
ハ、今年激増致シマシタ俸給所得
者ニハ綜合所得稅ハ適用ニナリマ
セヌデ、前年ノ所謂ココマデ物價
騰貴ガナカツタ事業所得者等ニ對
シマスル所得ニ適用ニナルノデゴ
ザイマス、最近非常ニ俸給ガ上リ
マシテ、年一萬圓以上ニナル人ガ
來年綜合所得稅ヲ納メルコトニナ
ルノデゴザイマス、今ノ情勢ヲ考
ヘマシタナラバ、來年ノ綜合所得
稅ノ免稅點ハ大イニ考慮シナケレ
バナラヌト思ヒマス、併シ今年一
萬圓ニ致シマシタノハ、非常ナ物
價騰貴以前即チ去年ノ所得ニ對シ

テ綜合所得稅ヲ課稅スルカシナイ
カノ問題デアツタノデ、一應一萬
圓ト決メタ次第ゴザイマス、隨
テ來年ノ綜合所得稅ノ徵稅ニ當ツ
テハ免稅點ニ付テ十分考慮シナケ
バナラヌト思ヒマス

○松永義委員 ソコデ最後ニ御
尋ネ致シタイコトハ、稅ノ徵收技
術ノコトデアリマス、本年増稅ニ
ナツテ果シテ増稅通りニ徵收が出

シテ是ダケノ税金ガ圓滑ニ上ゲラ
レルカドウカト云フ點ガ非常ニ問
題ニナツタコトガアリマス、ソレ
ト同ジコトガ現在私ハ問題ニナル
ノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居
ルノデアリマス、其ノ理由ハ、現
在ノヤウナ極メテ亂レタ世ノ中ニ
於テ、果シテ國民ノ納稅精神ト云
フモノガ正シク實行サレテ行カカ
ドウカト云フコトガ非常ニ危ブマ
レルノデアリマス、先程モ御話ガ
アツタヤウニ、例ヘバ事業所得稅
ヲ納メル人ガ色々ナ關係デ金ガ要
ルト云フコトヲ言ハレマスガ、併
シ事業資金ノ貸出ガ封鎖預金カラ
利用サレルト云フコトニ付テ止メ
ラレタ其ノ理由ノ一ツノ中ニ、相
當濫用セラレタ形ガアルノデアリ
マス、或ハ又現在供出ノ面ニ於テ

モ色々問題ヲ起シテ居ル、中ニハ正直ナ者程馬鹿ヲ見ルト云フヤウナ農民モアリマスケレドモ、又中ニハ惡農ト言ハレ、横流シヲヤツテ居ルヤウナオ百姓サンモナイトモ言ヘナインノデアリマス、現在ノ世ノ中ヲ見マスルト、大體ニ於テ惡性「インフレ」ニ依リ國民ノ考ヘガ變ツテ、犯罪ガ非常ニ澤山出デ來ルトカ、色々ナ方面ニ於テ國

ト云フコトニナツタ時ニ色々な問題ヲ起ス一ツノ大キナ理由ニナツテ居ルノデハナイカ、尙ホモウ一ツハ、是ハ只今申上ゲタヤウニ、世ノ中ニハ正直な者程馬鹿ヲ見ルト云フ諺デ、最近農家は於テ所得税ノ決定ニ對シテ非常ニ騷イデ居リマス、是ハ既ニ大藏省ニ於テハ能ク御承知ノ通りデアリマス、其ノ農民ノ中ニハ米ヤ麥ヲ横流シヲシテ多額ヲ所得テ居ル者モアリマスケレドモ、政府ノ方針ニ從ツテ眞面目ニ正直ニ供出シテ、サウシテ端境期ニハ食フヤ食ハズノウシテ追ハレ、サウシテ平時ニ於テモ既ニ飯米ヲ買ハナケレバナラヌト同ジヤウナ境遇ニアル者ハ、是ニ至ツテ非常ニ高い米ナリ麥ナリヲ買ツテ其ノ生活ヲ支ヘテ行カ

ナケレバナヲヌヤウナ事情ニ陥ツ
テ居ル者モ相當アルノデアリマ
ス、固ヨリ政府ハ配給米デヤツタ
ラ宜イデハナイカト仰シヤルカモ
分リマセヌガ、中ニハ斯ウシタ眞
面目ナ供出ヲ行ヒ、サウシテ食フ
ヤ食ハズノ境ヒニ陥ツテ居ル者ガ
アルノデアリマス、ソコデ我々ハ
サウシタ人達ニ對スル所得税ノ決
定ニ對シテハ、其ノ決定ヲ稅務署

ニ行ツテ直シテ貰フト云フコトモ
一ツノ方法デモアリマセウ、又他
方ニサウシテ決定ヲ受ケテシマツ
テドウニモ斯ウニモナリナイヤウ
ニナツテ居ル所ノ納稅者ニ對シ、
其ノ納稅ノ方法ナリ時期ナドニ付
テ考慮シテヤルト云フコトモ一ツ
ノ方法デアルト考ヘルノデアリマ
ス、ソレデ何時デモ問題エナルコ
トハ、所得稅ノ調査委員會デアリ
マス、所得稅ノ調査委員會ト云フ
モノハ誰ガ見テモ殆ド無用ノ長物
デアリマス、之ヲ改メテ行ツテ、
サウシテモツト民主化シテ、今日
税金ヲ納メテ居ル所ノ耕作者、或
ハ勤勞階級、勤勞所得稅ヲ納メル
ヤウナ人ヲ入レテ、所得稅ノ決定
ニ對シテ大イニ考テヘ行カナケレ
バナラヌト云フコトハ當然ノコト
デアリマス、併シナガラ現在ノ所
得稅ノ調査委員會ノ構成ト云フモノ
ハ、或ハ私ノ言葉ガ言ヒ過ギカモ
知レマセヌガ、所得稅ノ調査委員
ト云フモノハ屢々裁判所ヘ持つテ
行カレルヤウナ事件ヲ起シ、サウ
シテ一部或ハ自分ノ知合ヒノ人ノ
爲ニ運動ヲシテ唯税金ヲ負ケテサ
ヘヤレバ宜イト云フヤウナコトヲ
ヤツテ居ツタト云ツテモ過言デハ
ナイト思フ、先ツ以テ私共ハ此ノ
所得稅ノ調査委員會ト云フモノ
ニ、眞ニ税金ヲ納メル、又痛切ニ
税金ヲ納メルコトニ對シテ關係ヲ
持つ勤勞階級ノ人ヲ入レテ、ソシ
テ税金ノ決定ニ對シテ十分ニ審査

スル必要ガアルト思フノデアリマ
ス、其ノ點ニ關シテ先ツ以テ御尋
ネ致シタイト思フノデアリマス
更ニ續イテ御質問ヲ致シタイト
思フコトハ、今年ノ決定ニ依リマ
シテ、既ニモウ決定ニナツテ納メ
ナケレバナラヌコトニナツテ居ル
者ニ對シテ、既ニ其ノ決定ガ其ノ
個々ノ家庭ノ生活ニ依リマシテ、
非常ナ差異ヲ生ジ、生活ノ面ニ於
テ苦シイ結果ニ陥ル人モナイトモ
限ラナイノデアリマシテ、殊ニ最
近ハ御承知ノ通りニ勤勞所得稅ニ
付テモ色々ナ議論ガアル、或ハ農
業所得稅ニ付キマシテモ農民カラ
非常ナ議論ガアル際デアリマシ
テ、斯ウシタ人達ヲシテ眞ニ稅ノ
本質ヲ理解セシメ、ソシテ是ハ本
當ニ納メナケレバナラヌモノデア
ルト云フコトヲ一面考ヘサセルト
同時ニ、他方ニ又實際ニ氣ノ毒ナ
人ニ對シテ、其ノ納稅ノ時期ナリ
或ハ納稅ノ方法ニ付キマシテ考ヘ
テ戴ケルヤウナ徵稅ニ關スル委員
會ヲ御作りニナルヤウナ考ヘハナ
イカ、即チ税金ヲ稅務署ガ取上グ
ル時ニ、一面協力シテ、一面稅務
署ニ警告シ、ソシテ眞ニ納稅者ガ
喜ンデ納稅シ得ルヤウニ、徵稅委
員會ト申シマスカ、民主化シタ委
員會ヲ構成シ、税金ノ取立テニ對
シテ圓滑ノ途ヲ圖ツテ行ク方ガ適
當ダト思フノデアリマス、御考ヘ
ハ如何デゴザイマセウカ、其ノ二
點ニ付キマシテ御伺ヒ致シマス

○池田(勇)政府委員 所得調査委
員會ノ機構ニ付キマシテハ、將來
御意見ノアル所ヲ容レマシテ考慮
致シタイト思ヒマス、ソレカラ本
年ノ決定ガ適當デアツタト云フ場
合ニハ、異議ノ申出アリ次第ニ早
速訂正致シマスヤウニ特ニ注意ヲ
致シテ居リマシテ、一時全國數箇
所ニ於キマシテ農業所得ガ適當デ
アルト云フノデ物議ヲ醸シタ例モ
ゴザイマシタガ、只今ハ殆ド解
決致シマシタ、今後ノ納稅ニサシ
タル支障ハナイト考ヘテ居リマ
ス、尙ホ其ノ後ノ經濟狀況ニ依リ
マシテ納稅ガ困難ニナツタト云フ
場合ニ於キマシテハ、所得稅法第
七十五條ノ規定モゴザイマシテ、
輕減免除ノ處置ヲ執リ得ルコトニ
ナツテ居リマス、又輕減免除ニ付
キマシテ御話ノヤウナ調査機關ヲ
特ニ設ケルト云フコトノ必要ハナ
イカト思ヒマス、所得ノ決定等ハ
非常ニ難カシイコトデゴザイマス
カラ、皆様ノ御意見ヲ聽カナケレ
バ全キヲ期スル譯ニハ行キマセヌ
ガ、個々ノ人ニ對シマシテノ輕減
免除ハ稅務署長ガ考ヘレバ相當出
來ルト思ツテ居ル次第デゴザイ
マス

○松永(義)委員 大藏大臣ガ來ラ
レマシタノデ、早速御質問致シタ
イト思ヒマス、是ハ委員會ニ於テ
モ屢々大藏大臣ガ御話シニナツテ
居リマスケレドモ、國債ノ整理ノ
問題デアリマス、大藏大臣ノ御答
辯ニ依リマス、實際ニ付テハ觸
レタクナイトカ、或ハ極メテ消極
的ナ御答辯ニ終ツテ居ルノデアリ
マス、ケレドモ私ノ考ヘル所ニ依
リマス、恐ラク大藏大臣ハ、ソレ
ハ言ヒ過ギカモ知レマセヌガ、日
デハサウ仰シヤツテ居ラレルモノ
ノ、ヤハリ心ノ中デハ心配シテ居
ラレルノデハナイカ、或ハサウ申
上ゲマスコトハ私ノ考ヘテ居ルコ
トヲ別ノ言葉デ申上ゲテ居ルコト
ニナルノカモ知レマセヌガ、現在
ノ國債ハ一體ドウ云フ風ニヤツテ
行カレル積リカ、昭和五年ニ於キ
マシテ國債ハ色々ノモノヲ入レマ
シテ約六十二億圓位ニナツテ居ル
ノデアリマス、サウシテ其ノ時ノ
國民所得ガ百六億圓ニナツテ居ル
ノデアリマス、現在ノ國債ハ昨年
ノ終戰時ニ於キマシテ千二百億
圓、其ノ中戰時公債ガ九百何十億
圓デアリマス、國民所得ハドレ位
ニナツテ居ルカト云フ計算デアリ
マスガ、二百五十億乃至四百億ト
云フ數字ガ調査シテ出テ居ルノデ
アリマス、昭和五年ニ於キマシテ
ハ公債ノ額ガ國民所得ニ對シテ約
六割デアリマス、所ガ昨年ノ終戰
時ニ於キマシテハ二百五十億乃至
四百億ノ國民所得ニ對シテ一千二
百億ト云フコトニナリマスレバ、
約三倍乃至五倍ト云フ大キナ額ニ
ナツテ居ルノデアリマス、而シテ
我々ハ我々ノ年輩ノ者ニハ能ク分
ルノデアリマスガ、昭和五年ニ於

ケル所ノ生活ト、今日ノ生活トノ
間ニハドレ位ノ大キナ差ガアルカ
ト云フコトハ數字ハ示サズトモハ
ツキリ致シテ居ルノデアリマス、
然ラバ昭和五年ニ於テ六割ノ國債
ノ元利ヲ支拂ツテ行キ、サウシテ
アレダケノ生活ヲシテ居ル、所ガ
昨年終戰時ニ於テハ三倍乃至五倍
ノ公債ガ出テ居ル、其ノ元利拂ヒ
ヲ國民ガ是カラ背負ツテ行カナケ
レバナラヌト云フコトニナリマス
時ニハ、國民ノ生活ト云フモノガ
ドウナツテ行クカト云フコトハ、
ソレダケデモハツキリ分ルト思フ
ノデアリマス、ソレデ大藏大臣ニ
御尋ネ致シタイコトハ、斯ウシタ
重擔ヲ與ヘテ居ル所ノ國債ヲ此ノ
儘ニシテ、觸レタクナイトカ、或
ハ又はハソツトシテ置クンダト云
フヤウナ御考ヘデイウマデモイラ
ツシヤルカドウカ、ソレトモ亦是
ハ何トカシナケレバナラヌモノデ
アルカラ整理ヲシテ行キタイ、或
ハ又順次道ヲ履ンデ整理ノ途ヲ考
ヘテ行キタイ、其ノ何レノ場合デ
アルカ、大藏大臣ハ現在千四百億
トカニナツテ居ルト言ハレル多額
ノ公債ニ對シテ、ドウ云フ風ニヤ
ツテ行カレントスルノカ、此ノ點
ニ付キマシテ御伺ヒ致シタイ
○石橋(國務)大臣 大變親切ナ眞面
目ナ御尋ネデアリマスガ、一寸御
話ノ中ノ數字ニ間違ヒガアルンデ
ハナイカト思ヒマス、最近ノ
國民所得ト云フモノハ、實ハ色々

ノ關係デハツキリシタ計算ガ出來
マセヌガ、マサカ二百億圓ヤ四百
億圓デハナイノデアリマス、ヤハ
リ二千億トカ何トカ云フ風ニ考ヘ
ラレルト思ヒマス、デアリマス
ラ現在ノ日本ノ國ノ國債ガ少イト
ハ申シ兼ネマスケレドモ、問題ハ
今後ノ經濟ガドウナルカト云フコ
トニアリマス、若シモ是
ガ今ノ七、八千萬ノ國民ノ中カラ
純然タル失業者ヲ出ス、其ノ中ノ
大部分ノ働ケル者ガ遊バナケレバ
ナラヌニモ拘ラズ、進駐軍費デア
リヌストカ、或ハ賠償ノ關係デア
リマス。トカ云フヤウナコトカラ、
今後ノ財政ハヤハリ赤字ガ續クト
云フコトデアリマス、是ハ現在
ノ國債ノ負擔ガ出來ナイドコロデ
ヤナイ、是ハ非常ナコトニ相成リ
マス、併シコ、一年ニナリ半年ナ
リハ、非常ニ苦シイ財政狀態デア
リマスガ、幸ヒニ國民ノ協力ニ依
ツテ此ノ危機ヲ切抜ケテ、少シデ
モ増産ニ向ツテ行ク、サウシテ
七、八千萬ノ國民ノ中デ、働キ
得ル者ガ鬼ニモ角ニモ何等カノ生
産ニ從事ガ出來得ル狀況ニ取付キ
得ルナラバ、私ハ現在ノ國債位ハ
容易ニ負擔シテ行ケルト思ヒマ
ス、ト云フノハ物價ノ關係カラ申
シマシテモ、昭和ノ初メ頃ニ比較
スレバ、今ハ何倍ニモ上ツテ居リ
マス、今數字ヲ覺エテ居リマセヌ
ガ、物價ハ相當上ツテ居ル、最近
ノ狀況デアリマシテモ、終戦前位

ト比較シテモ公定價格デ五倍位ニ
上ツテ居ル、是ハ元來戰爭中ノ公
定價格ガ低過ギタト云フヤウナ譯
デアリマスカラ、假ニ戦前ノ物價
ノ十倍ト云フコトガ、現在ノ物價
ノ「レベル」デアル、サウシテ、ソレ
ニ依ツテ物價ノ安定ヲシ、賃金、
俸給其ノ他トノ凸凹ヲ訂正シテ、
均衡ヲ保チ、ソコニ經濟ノ立直シ
ヲシテ行クトシマスレバ、千五百
億アル國債ハ、以前ノ實質カラ申
セバ五十億圓、斯ウ云フ譯デア
リマスカラ、數字ハ非常ニ多ク上
ツテ居リマスケレドモ、冷靜ニ考
ヘレバ驚ク程ノ金額デハナイノデ
アリマス、問題ハ是カラ増産ガ出
來ルカドウカ、實ニ是ニ掛ツテ居
リマス、増産ガ出來ルト云フコト
デアレバ、繰返シテ申シマスヤウ
ニ、サシテ心配スルコトハナイ、
増産ガ出來ナイト云フコトデアレ
バ、是ハ國債「コロ」問題デハナ
イ、モット心配シナケレバナラヌ
事態ガ來ル、斯ウ云フコトダト私
ハ考ヘテ居ル、無論此ノ國債ト云
フモノモ、ヤリ方ニ依ツテハ整理
スルコトモ出來ルノデアリマス、
併シ何時モ申上ゲマスヤウニ、國
債ハ決シテ金持ナドガ持つテ居ル
ノデハナイ、個人ガ持つテ居リマ
スノハ、全體ノ國債ノ體カ、二
「パーセント」デアリマシテ、是
ハ御話ニナラナイ、九十何「パー
セント」ト云フモノハ金融機關、
其ノ中デモ郵便貯金或ハ地方ノ幾

業關係ノモノト云フ所ニ非常ニ多
イノデアリマス、詰リ小サナ預金
者、一人々々トスルト零細ノ預金
者ノアル所ニ、割合ニ國債ガ多
イ、斯ウ云フ現狀ニナツテ居リマ
ス、デスカラ國債ヲ飛バスト云フ
コトハ結局、預金、殊ニ郵便貯金
ナドヲ飛バサナケレバナラヌト云
フコトニナル、是モ出來ナイ限リ
デハナイノデアリマスガ、何シロ
今度ノ補償ノ整理ニ依リマシテ、
相當色々ノ波瀾ヲ生ジル、ソレカ
ラ預金者、被保險者等ニモ或ル程
度ノ迷惑、小サナ方ニハ及ボサナ
イ積リデアリマスガ、相當ニ迷惑
ガ及ブ、其ノ上ニ更ニ國債ヲヤル
ト云フコトニナリマス、折角保
護シヨウトシテ居ル小サナ預金者
ニ又損害ガ及ブ、斯ウ云フコトニ
ナリマシテ、其ノ點モ甚ダ思ハシ
クアリマセヌシ、ソレカラ動搖ヲ
何處マデモヤツテ行クト云フコト
ハ、結局増産、經濟界ノ建直シト
云フ上ニ有形無形ノ損失ガアルト
致シマス、是ハ直接ニハ所謂勤
勞階級ニハ損害ハ與ヘマセヌデ
モ、ヤハリ有形無形ニ經濟界ノ波
瀾ヲ促スト云フコトハ、隨テ失業
者等ヲ多ク作ルト云フコトデアリ
マスカラ、國家全體トシテモ非常
ニ不幸デアリマスシ、又直接其ノ
失業ヲシナケレバナラヌ諸君ノ困
難ハ言フマデモアリマセヌ、斯ウ
云フ色々ノ觀點ヲ考ヘマシテ、近
ク其ノ全貌ノ御審議ヲ煩ハスコト

ニナリマスガ、經濟界ノ措置ト考
ヘ合ハセテ、國債ハヤハリ整理シ
ナイガ宜シイト云フ結論ニナルト
同時ニ、將來ノコトヲ考ヘマス
ト、前申シマシタヤウニ是ハ今回
ノ整理ニ依ツテ建直リガ緒ニ付イ
テ參レバ、國債ガケテ背負ツテ行
クコトハ、困難ナコトデハナイ、
斯様ニ考ヘテ居リマス
○松永(義)委員 私ノ申上ゲマシ
タ國民所得ノ額デアリマスガ、二
百億乃至四百億ト云フノハ、昨年
ノ八月十五日ノ國民所得調査別表
ニ其ノ數字ガ出テ居ルノデアリマ
ス、併シ大體ノ數字デスカラ、ソ
レハソレデ宜イトシテ、今二十億
ノ國民所得ガアル、是ハ色々ナ批
評ガ出テ居リマスヤウニ、今ノ國
民所得ガ果シテソレダケ生産物ガ
殖エテ居ルモノデアアルノカ、ソレ
トモ名目目的ダケノ金ガ上ツテノ國
民所得デアアルノカト云フ問題ニナ
レバ、即チ今ノ「インフレ」ノ原
因デ上ツテ居ルノデハナイカ、ソ
コデ二十億ノ國民所得ガアルノダ
カラ、其ノ中カラ税金ヲ取立テテ
サウシテ國債ヲ返シテ行ケバ宜イ
ノデヤナイカト云フコトニナリマ
スレバ、是ハ極端ナ言葉カモ知レ
マセヌガ、金ハ今ノ内ニ借りテ置
ク、其ノ内ニ反古紙ニナルカラ、
反古紙ニナツタ時ニ、札ガ多クナ
ツタ時ニ、借金ヲ返セバ宜イノ
ダ、即チ惡性インフレニ乗ツテ、
國債ノ償還ヲシテ行カウト云フ考

ヘデアツテ、極メテ不健全ナ考ヘ
デアルヤウニ私ハ思フノデアリマ
スガ、大藏大臣ハドウ御考ヘデア
リマスカ
○石橋國務大臣 無論實質的ニ昭
和ノ初マリ頃ニ國民所得ガ幾ラデ
アリマシタカ、百億圓ヲ切ツテ居
リマシタ、ソレガ現在ハ正確デハ
アリマセヌケレドモ、二千億圓ト
カ何トカ言ハレテ居ルノハ、必ズ
シモ昭和ノ初マリ頃ノモノノ實質
的ニ二十倍ニナツタ譯デハナク
テ、大部分ガ貨幣價值ノ低落、即
チ物價騰貴デサウ云フコトニナツ
タ、同時ニ國債モサウ云フコトニ
ナツテ居ル、國債モ昭和ノ初マリ
頃ハ實質ヲ持つテ居ツタケレド
モ、今日ハ名目目的ニ千何百億ト
カ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、
ソレハ貨幣價值デ勘定シタ場合ハ
同様デアリマス
ソレカラ後ノ御尋ネノソレハ
「インフレ」ニ依ツテト云フコト
デアリマスガ、現在マデノ狀況ハ
確カニ「インフレ」ニ依ツテ整理
サレテ居ル譯デアリマス、國債ハ
「インフレ」ニ依ツテ名目目的ノ數
字ガ殖エテ居ルノデアリマス、國
民所得モ名目目的ノ數字ガ殖エテ居
ル、ソレデ計算サレテ居ル譯デア
リマス、併シ後ノコトヲ考ヘル
ト、私ノ言フノハ今ノ御話トハ逆
デアリマシテ、詰リモウ既ニ「イ
ンフレ」ハ此處デ大體終ツテ、ア
トハ今後ノ手術ニ依ツテ、經濟界

ガ立直リニ向ツテ、生産方漸次殖エテ行ケバ、負擔ガ出來ル、斯ウ云フ譯デアリマシテ、決シテ此ノ後トシ「インフレ」ヲ續ケルト云フ意味デハナイノデアリマス、國債ノ整理ハ言フマデモナク、サウ云フ風ニ増産ヲヤツテ行クト云フコトデ、段々貨幣價值ヲ上ゲル、詰リ貨幣ノ實際價值ヲ上ゲルト云フコトデアリマスカラ、是ハ國債ノ所有者ニ取ツテハ非常ナ利益デアル、言換ヘレバ預金者ニ取ツテ利益デアルト云フコトニナリマス、此ノ後ニ「インフレ」ヲ續ケテ、第一次世界大戰ノ「ドイツイ」ノ場合ノヤウニ、貨幣價值ヲ下落サレテ、國債ハアツテモナクテモ同ジヤウナモノニスルト云フコトモ、國債整理ノ一ツノ方法デアリマスガ、サウスレバ是ハ國債ノ所有者或ハ銀行ノ預金者等ニハ非常ナ損害ヲ掛ケル譯デアリマス、樂ナノハ後ノ「ドイツイ」ノヤウタヤウニナルコトガ、實際ハ樂デアリマスガ、ソレデハ一回ニ於テ非常ナ弊害ヲ生ジマスカラ、私ノミナラズ、今ノ日本ノ全體ノ輿論ガ第一次世界大戰後ノ「ドイツイ」ノ如キヤリ方ニハ全部反對ナ譯デアリマス、是カラ苦シイナガラモ増産ヲシ、貨幣ノ實際價值ヲ段々ト高メツツ整理ヲシヨウ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、御話トハ逆ナ考ヘテ持ツテ居リマス

局長ニ御伺ヒシタコトニ後戻リスルノデアリマスガ、本年度ノ豫算ヲ見マスド、稅收入其ノ他公債ニ依ツテ賄ツテ居ラレルヤウデアリマスガ、而シテ支出ノ面ニ於テハ補助金其ノ他相當生産ノ方ヘ支出ヲセラレテ居ルヤウデアリマスガ、本年度ノ豫算ノ生産方面ニ對スル政府ノ支出ダケデ以テ果シテ此ノ「インフレ」ナリ、大キナ目デ見レバ國債ノ市價ヲ維持シテ行カレルノデアリマスカラ

○石橋國務大臣 私ノ考ヘデハ今豫算ガ出マスガ、其ノ支出ニ依ツテ現在ノ資材等ノ關係カラ見マスト大體アレダケノ仕事ヲ十分ニヤツテ行ケバ相當ノ成功ダト思ヒマスケレドモ、若シ足ラナケレバ無論又追加豫算ヲ秋ナリ冬ナリノ議會ニ出シテ御協賛ヲ仰イデ宜イノデアリマス、若シソレダケノ仕事ガ出來ルト云フコトニナレバ是ハ寧ろ豫期以上ノ成功デハナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス、今ノ惱ミハ右カラ左ニ資材ガ十分アリマセヌカラ、隨テ失業ナドヲシテ來ル諸君ニ直グニ仕事ヲヤツテ貰フト云フ場合ニ、澤山ナ資材ヲ要スルモノナドノ仕事ニ當レナイ、隨テ理想的ニ申セバ生産ニ寄與スルヤウナ、發電工事トカ云フヤウナコトヲヤルコトモ非常ニ好マシイノデアリマスガ、サウ云ウ方面ニハ多クノ仕事ガ出來ナイデヤナイ

カ、斯ウ考ヘテ居リマス

○松永(義)委員 ソコデ箇條書キニ聽イテ行キタイト思ヒマスガ、本年度ノ生産増加ノ目標ノ爲ニ追加豫算ヲ假ニ出サレルトシマシテ、其ノ財源ハ何處ニ求メラレマスカ、財產稅ニ求メラレルノデアリマスルカ、ソレトモ又公債ノヤウナモノヲ發行サレルノデアリマスカ、ドウ云フ風ニナサイマスカ

○石橋國務大臣 先般モ御説明申上ゲマシタヤウニ本年度ニ於テハ財產稅ヲ使フコトニナツテ居リマスガ、若シモソレデモ足りナイ、ソレデ是ガ生産ヲ伸バス方法ニナルト云フ場合ニハ公債ヲ發行シテ差支ヘナイト考ヘテ居リマス

○八木委員 私ガ大藏大臣ニ御尋ネセントスル所ハ、今回ノ稅制ノ法案ナルモノハ、第一ニ徵稅ノ簡素化ト云フコトガアリマスルガ、能ク見テミマス、其ノ内容ハ特別行爲稅ガ廢止サレテ、尙ホ臨時利得稅ガ衣ヲ替ヘテ出テ來テ、而モ國民ノ負擔ハ大キクナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ私ハ、今回ノ國民負擔ノ増稅ニ對シテ兎ヤ角言フノデハナイノデアリマスガ、此ノ稅制ノ法案ヲ根本的ニ變ヘルコトハ出來ナイカ否ヤト云フコトヲ大藏大臣ニ一言御尋ネシタイノデアリマス

地方分與稅ハ昭和十五年ノ議會ニ提出サレマシテ、我々モ神戸市ノ市會議員ヲシテ居リマシタ時

ニ、此ノ分與稅ナルモノハ地方稅ニ對スル非常ナル脅カシマスルモノデアルト云フ意味カラ、都市聯合シテ之ニ反對シタモノデアリマスガ、遺憾ナガラ是ガ通過致シマシテ、今地方分與稅ナルモノニ依ツテ地方ハヤツテ居リマスガ、此ノ地方ノ分與稅ナルモノヲ、逆ノ方向ニ、政府ハ稅法ノ徵收ト云フコトヲ地方ニ委シテ、地方カラ政府ニ納付ヲサスト云フヤウナコトニシテ、本稅、附加稅或ハ云々ト云フ三本建テノ稅法ヲ一本建テニシテ、而シテ此ノ稅法ヲ簡素化シタラドウカト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス、現在地方デ家屋稅ヲ徵ツテ居ツタノガ本稅トナツテ中央ニ委讓シテ、而シテ市ノ方ニ又必要ノ額ヲ分與サレルノデアリマスガ、政府ハ地方ニ於テ是マデニ徵收シテ居ツタ額ハ、其ノ比列等ハ政府ニ於テ略々定メテ、地方ニ合算シテ定メテ、徵收法ヲ地方ニ委シタナラバ、此ノ徵收ノ方法ナリ稅法ノ決定ガ一本建テニナツテ非常ニ簡素ニナルノデハナイカト御尋ネスル次第デアリマス

○石橋國務大臣 分與稅等ノ問題ハ御審議中ノ地方稅制ナドノ問題ト絡ミ合ヒマシテ、段々地方ノ自治ト云フモノヲ本格的ニ高メテ發展サシテ行クト云フ場合ニハ、自然其ノ地方ニ獨立ノ財源モナケレバイケナイト云フコトニナリマスノデ、ソレ等ノ問題ト相見合ヒマ

シテ今後此ノ地方稅ノ問題ハ十分研究シナケレバナラヌト思ツテ居リマス、デアリマスカラ、私モ以前家屋稅ガ各地方毎ニ取ラレテ居ル頃ノコトモ知ツテ居リマスガ、アレニモ中々面白味ノアツタ事ト考ヘテ居リマス、併シアノ分與稅制度ノ出來ル時ニ其ノ弊害ヲ見テ今日ノ制度ノ様ニ改メタイトモノ思ツテ居リマス、今日ノ制度亦必ズシモ萬全トハ言ヘナイノデアリマス、國稅ニ付テモ研究スベキ點ガ多クアリマスガ、就中地方稅關ニ付テハ十分今後檢討シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○八木委員 私ノ申上ゲタコトハ大藏大臣ニハ大體御諒解サレタノデ、稅法ニ對シテハ考ヘルト云フコトデゴザイマスガ、要ハ私ガ之ヲ簡素化セヨト云フコトハ先ヅ大藏大臣ガ大藏省ノ方ニ於テ人件費ヲ減シテ、サウシテ他ノ省ニ範ヲ示スト云フヤウニヤツテ藏キタイト思スノデアリマス、何トナレバ今日此ノ増稅ヲセナケレバナラナイト云フコトハ、一面ニ待遇改善ニ於テ非常ニ人件費ガ高マツテ居ルノデアリマス、是ハ量ヨリモ質デセナケレバナラヌノニモガラズ、今日ノ政府ノヤリ方ハ質ヨリモ量ト云ツタヤウナ、人サハアレバ何事モ出來ルト云フヤウナ觀念ヲ持タレテ居ル、洵ニ私ハ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、仍テ量ヨリモ質ト云フ意味ニ於テ、質

ノ良イ人ニハ十分ナ待遇ヲシテ、
サウシテ此ノ際ニ人事ノ行政ヲヤ
ル、又各省ノ整理ヲシテヤルニ付
テハ、先ヅ大藏省カラ機構ノ改革
ヲシテ、サウシテ大藏省ハ是マデ
ハ是ダケノ人デヤツテ居ツタノダ
ガ、事務ノ機構ヲ改革シテ簡素ニ
シタ爲ニ斯ウ云フ風ニ人件費ガ減
ツタゾト云フコトヲバ、豫算ノ上
ニ於テモ各省ニ範ヲ示サレテ今後
其ノ意味ニ於テ總テニ研究サレン
コトヲ願ヒマシテ、私ハ此ノ問題
ハ打切ル次第デアリマス、私ハマ
ダアトアリマスケレドモ、時間ガ
アリマセヌカラ明日ヤラセテ戴キ
マス

○苦米地委員長 一寸御報告申上
ガルコトガゴザイマス、委員ノ異
動ガゴザイマシタ、喜多稻治郎君
ガ辭任サレマシテ、其ノ補闕トシ
テ、中野四郎君ガ議長ニ依ツテ指
名サレマシタ、此ノ段御報告申上
ゲマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シ
マス、明日ハ午前十時ヨリ開會致
シマス

午後三時四十二分散會